

(様式第10)

5京医大第856号

令和 5年 9月 27日

厚生労働大臣 殿

開設者名 京都府公立大学法人

理事長 金田 章裕

京都府立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465
氏名	京都府公立大学法人

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

京都府立医科大学附属病院

3 所在の場所

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465
電話(075) 251 - 5111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科		
診療実績							
「神経内科」の診療内容は脳神経内科で提供している。 「感染症内科」の診療内容は内科で提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科	○	4心臓外科
○	5血管外科	○	6心臓血管外科	○	7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	移植外科	2	小児心臓血管外科	3	形成外科	4	リハビリテーション科	5	病理診断科
6	脳神経内科	7	内分泌・糖尿病・代謝内科	8	内分泌・乳腺外科	9	精神科・心療内科	10	救急医療科
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
118		54		893	1065

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数	
医師	265	219	479.6	看護補助者	60	診療エックス線技師	0	
歯科医師	5	11	15.1	理学療法士	18	臨床 検査	臨床検査技師	75
薬剤師	59	6	63.1	作業療法士	7		衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	8		その他	0
助産師	32	0	32	義肢装具士	0		あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	751	71	803	臨床工学士	22	医療社会事業従事者	1	
准看護師	0	5	3.6	栄養士	6	その他の技術員	19	
歯科衛生士	8	0	8	歯科技工士	2	事務職員	245	
管理栄養士	11	6	12.7	診療放射線技師	62	その他の職員	13	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	69	眼科専門医	18
外科専門医	56	耳鼻咽喉科専門医	14
精神科専門医	9	放射線科専門医	31
小児科専門医	28	脳神経外科専門医	11
皮膚科専門医	8	整形外科専門医	25
泌尿器科専門医	12	麻酔科専門医	28
産婦人科専門医	19	救急科専門医	14
		合計	342

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (佐和 貞治) 任年月日 令和 5 年 4 月 1 日

平成27年4月1日～令和5年3月31日まで医療安全推進部長(令和3年3月31日までは医療安全管理部長)を務める。
 平成28年9月30日～令和3年3月31日まで医療安全管理責任者を務める。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	417.1 人	2.3 人	419.4 人
1日当たり平均外来患者数	1771.3 人	172.4 人	1943.7 人
1日当たり平均調剤数		1034	剤
必要医師数		141	人
必要歯科医師数		10	人
必要薬剤師数		14	人
必要(准)看護師数		275	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要	
集中治療室	436.8 m ²	骨鉄筋コンクリ	病床数 人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	20 床 有 有 心電計 心細動除去装置 ペースメーカー 有 有 有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 181.7 m ² [移動式の場合] 台数 9 台		病床数	9 床
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 37 m ² [共用室の場合] 共用する室名			
化学検査室	211 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析装置、免疫自動分析装置、検体前処理装置、全自動グリコヘモグロビン測定装置、血糖検査機器、多項目自動血球分析装置、凝固検査機器、全自動細胞解析装置
細菌検査室	216.29 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	安全キャビネット、全自動血液培養検査装置、細菌同定検査装置、薬剤感受性検査装置、抗酸菌遺伝子検査装置、抗酸菌液体培養検査装置
病理検査室	260.23 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	安全キャビネット、ホルマリン対策局所廃棄装置、写真撮影装置、脱脂脱水包埋装置、自動染色機、クライオスタット、硬組織用切断機、自動封入機、顕微鏡システム、画像データベース、バーチャルスライドシステム
病理解剖室	75 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	L地形ステンレス解剖台、写真撮影装置、ディープフリーザー、消毒装置、マクロ標本棚、体液吸引装置、脱脂脱水包埋装置
研究室	3792 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	核磁気共鳴装置、スペクトロメーター、画像解析装置、遠心器、マイクローム、光度計、血液分析装置

講義室	616 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	4	室	収容定員	420	人
図書室	1080 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	27	室	蔵書数	14,000	冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	81.7	%	逆紹介率	102.1	%
算出根拠	A: 紹介患者の数			14,833	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			21,484	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			2,345	人
	D: 初診の患者の数			21,032	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
松村 由美	京都大学医学部 附属病院	○	特定機能病院の医療安全管理体制に精通している。	無	1
平野 哲郎	立命館大学法科大学院 法務研究科		法律研究者として関係の法律に精通している。	無	1
清水 智治	滋賀医科大学医学部 附属病院		医療安全管理に関する専門的知識を有している。	無	1
秋篠 憲一			本院の患者として医療を受ける者の代表	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
京都府公立大学法人のホームページに掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	該当なし	取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
扱い患者数の合計(人)	0

高度の医療の提供の実績等

(様式第2)

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	4	56	ベーチェット病	69
2	筋萎縮性側索硬化症	25	57	特発性拡張型心筋症	39
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	6
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	13	60	再生不良性貧血	20
6	パーキンソン病	118	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	4	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	37
9	神経有棘赤血球症	1	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トウス病	6	65	原発性免疫不全症候群	8
11	重症筋無力症	90	66	IgA 腎症	86
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	40
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	71	68	黄色靨帯骨化症	14
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	23	69	後縦靨帯骨化症	49
15	封入体筋炎	4	70	広範脊柱管狭窄症	16
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	61
17	多系統萎縮症	4	72	下垂体性ADH分泌異常症	4
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	42	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	6	74	下垂体性PRL分泌亢進症	2
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	1
21	ミトコンドリア病	9	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	8	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	12
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	54
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	9	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	11
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	53	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	58
30	遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	10
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	24
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	37
34	神経線維腫症	27	89	リンパ脈管筋腫症	2
35	天疱瘡	11	90	網膜色素変性症	11
36	表皮水疱症	3	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	11	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	23	93	原発性胆汁性肝硬変	37
39	中毒性表皮壊死症	9	94	原発性硬化性胆管炎	4
40	高安動脈炎	15	95	自己免疫性肝炎	14
41	巨細胞性動脈炎	16	96	クローン病	138
42	結節性多発動脈炎	15	97	潰瘍性大腸炎	295
43	顕微鏡的多発血管炎	34	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	19	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	24	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	18	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	13	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	6	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	253	104	コストロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	113	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	95	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	38	107	全身型若年性特発性関節炎	20
53	シェーグレン症候群	35	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	15	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	6	110	ブラウ症候群	0

高度の医療の提供の実績等

(様式第2)

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	17
113	筋ジストロフィー	9	163	特発性後天性全身性無汗症	13
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	5
118	脊髄髄膜瘤	1	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	4
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動	10	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性	0	175	ウィーバー症候群	0
126	白質脳症	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	ペリー症候群	0	177	有馬症候群	1
128	前頭側頭葉変性症	2	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	179	ウィリアムズ症候群	1
130	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	180	ATR-X症候群	0
131	先天性無痛無汗症	0	181	クルーゾン症候群	0
132	アレキサンダー病	1	182	アペール症候群	0
133	先天性核上性球麻痺	0	183	ファイファー症候群	0
134	メビウス症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	アイカルディ症候群	1	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	片側巨脳症	0	187	歌舞伎症候群	1
138	限局性皮質異形成	0	188	多脾症候群	0
139	神経細胞移動異常症	0	189	無脾症候群	1
140	先天性大脳白質形成不全症	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	ドラベ症候群	0	191	ウェルナー症候群	0
142	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー欠神てんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	1
144	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	194	ソトス症候群	0
145	レノックス・ガストー症候群	1	195	ヌーナン症候群	0
146	ウエスト症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	大田原症候群	0	197	1p36欠失症候群	0
148	早期ミオクロニー脳症	0	198	4p欠失症候群	0
149	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	1	199	5p欠失症候群	0
150	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	環状20番染色体症候群	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	ラスムッセン脳炎	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	PCDH19関連症候群	0	203	22q11.2欠失症候群	1
154	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	204	エマヌエル症候群	0
155	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	ランドウ・クレフナー症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	レット症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	スタージ・ウェーバー症候群	0	208	修正大血管転位症	2
159	結節性硬化症	6	209	完全大血管転位症	2
160	色素性乾皮症	0	210	単心室症	1
160	先天性魚鱗癬	1			

高度の医療の提供の実績等

(様式第2)

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	1	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	4	262	原発性高カイロミクロン血症	1
215	ファロー四徴症	2	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	3	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	2	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候	0
222	一次性ネフローゼ症候群	54	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	271	強直性脊椎炎	19
224	紫斑病性腎炎	6	272	進行性骨化性線維異形成症	1
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	2	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	2
232	カーニー複合	1	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	2
240	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性出血病XIII 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 (R3.11から病名変更)	1
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	3
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	1
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	1	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	1
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膵炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	8
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	2
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	2	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	29

高度の医療の提供の実績等

(様式第2)

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	1	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	2
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1 B関連腎症	1	329	無虹彩症	3
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症	1
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャスルマン病	6
318	シトリン欠損症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール (GPI)欠損症	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	0
			336	家族性低 β リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
			337	ホモシスチン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	147
合計患者数(人)	2,747

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料(一般)7対1	・後発医薬品使用体制加算1
・特定機能病院入院基本料(結核)7対1	・病棟薬剤業務実施加算1
・救急医療管理加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・超急性期脳卒中加算	・データ提出加算2
・診療録管理体制加算1	・入退院支援加算2
・医師事務作業補助体制加算1 20対1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・急性期看護補助体制加算 25対1 看護補助者5割未満	・精神疾患診療体制加算
・看護配置加算	・精神科急性期医師配置加算2のロ
・看護補助加算1	・地域医療体制確保加算
・療養環境加算	・特定集中治療室管理料2
・重症者等療養環境特別加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・無菌治療室管理加算1	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・無菌治療室管理加算2	・総合周産期特定集中治療室管理料
・放射線治療病室管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・緩和ケア診療加算	・小児入院医療管理料2
・精神科応急入院施設管理加算	・緩和ケア病棟入院料1
・精神科身体合併症管理加算	・精神科急性期治療病棟入院料1
・摂食障害入院医療管理加算	・看護職員処遇改善評価料82
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・報告書管理体制加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・ニコチン依存症管理料
・一般不妊治療管理料	・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算
・生殖補助医療管理料1	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・ウイルス疾患指導料の注2	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・外来栄養食事指導料の注3	・こころの連携指導料(Ⅱ)
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・がん治療連携計画策定料
・糖尿病合併症管理料	・薬剤管理指導料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・医療機器安全管理料1
・がん患者指導管理料イ	・医療機器安全管理料2
・がん患者指導管理料ロ	・精神科退院時共同指導料1及び2
・がん患者指導管理料ハ	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
・がん患者指導管理料ニ	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・外来緩和ケア管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・糖尿病透析予防指導管理料	・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査
・小児運動器疾患指導管理料	・精密触覚機能検査
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・骨髄微小残存病変量測定
・婦人科特定疾患治療管理料	・BRCA1/2遺伝子検査(腫瘍細胞、血液)
・腎代替療法指導管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・下肢創傷処置管理料	・角膜ジストロフィー遺伝子検査
・外来腫瘍化学療法診療料1	・遺伝学的検査
・外来腫瘍化学療法診療料_連携充実加算	・染色体検査の注2に規定する施設基準
・院内トリアージ実施料	・先天性代謝異常症検査
・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算1	・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
・外来放射線照射診療料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)

・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・心臓MRI撮影加算
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・外来化学療法加算1
・国際標準検査管理加算	・連携充実加算
・遺伝カウンセリング加算	・無菌製剤処理料
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・歯科口腔リハビリテーション料2
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・胎児心エコー法	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・ヘッドアップティルト試験	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・長期継続頭蓋内脳波検査	・摂食嚥下機能回復体制加算1
・脳波検査判断料1	・がん患者リハビリテーション料
・単線維筋電図	・リンパ浮腫複合的治療料
・神経学的検査	・手術用顕微鏡加算
・補聴器適合検査	・口腔粘膜処置
・黄斑局所網膜電図	・経頭蓋磁気刺激療法
・全視野精密網膜電図	・療養生活環境整備指導加算
・ロービジョン検査判断料	・療養生活継続支援加算
・コンタクトレンズ検査料1	・認知療法・認知行動療法1
・小児食物アレルギー負荷検査	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・内服・点滴誘発試験	・医療保護入院等診療料
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・歯根端切除手術の注3
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・歯周組織再生誘導手術
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・手術時歯根面レーザー応用加算
・経気管支凍結生検法	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・画像診断管理加算1	・多血小板血漿処置
・遠隔画像診断	・硬膜外自家血注入
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・CT撮影及びMRI撮影	・人工腎臓1
・冠動脈CT撮影加算	・下肢末梢動脈疾患指導管理加算

・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・導入期加算3及び腎代替療法実績加算	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定器具を用いたもの)
・センチネルリンパ節加算	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・自家脂肪注入	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・後縦帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・椎間板内酵素注入療法	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・角結膜悪性腫瘍切除手術	・胸腔鏡下弁形成術
・角膜移植術(内皮移植加算)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・羊膜移植術	・経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)
・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	・胸腔鏡下弁置換術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・経皮的僧帽弁クリップ術
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・網膜再建術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
・人工中耳植込術	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術

・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・生体腎移植術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・膀胱水圧拡張術
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・補助人工心臓	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等	・腹腔鏡下仙骨隆固定術
・内視鏡的逆流防止粘膜切除術	・腹腔鏡下仙骨隆固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	・体外式膜型人工肺管理料
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・体外衝撃波胆石破砕術	・輸血適正使用加算
・腹腔鏡下肝切除術	・輸血管理料 I
・体外衝撃波膵石破砕術	・コーディネート体制充実加算
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・同種クリオプレシピテート作製術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・胃瘻造設時嚙下機能評価加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・レーザー機器加算
・内視鏡的小腸ポリープ切除術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・麻酔管理料(Ⅱ)
・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・CAD/CAM冠

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	200回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	20例(院内13例)
	剖検率(%)	5.7%(院内)

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
感染制御法構築を目指した病原体生存因子の解明	廣瀬 亮平	消化器内科	2,600,000	補○ 委 文部科学省
腫瘍由来miRNAに着目した胃癌腹膜播種におけるサルコペニアの分子機構解明	岩井 直人	消化器内科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
脂肪肝炎動物モデルの構築と、脂肪肝炎の病態・脂肪腫における腫瘍機序の解明	三宅 隼人	消化器内科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
肝オルガノイドを用いた熱ショック蛋白Apg-2の肝脂肪化、肝発がん機序の解明	山口 寛二	消化器内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
ヒトNAFLDにおけるApg-2:臨床データとの相関と疾病スクリーニング法の樹立	伊藤 義人	消化器内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
腸管恒常性維持機構に着目した食物アレルギー発症メカニズムの解明	春里 暁人	消化器内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
正常免疫マウスでのがん免疫療法によるサイトカイン放出症候群の病態解明と新治療開発	岡山 哲也	消化器内科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
PNPLA3とHSD17B13遺伝子のNAFLD病態における意義と機能解析	瀬古 裕也	消化器内科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
Gut-muscleaxisに着目したがんサルコペニアの病態解明と新規治療開発	石川 剛	消化器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
高ずり応力状態下での消化管粘膜血管異形成の実態とその発症メカニズムの解明	井上 健	消化器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
口腔内細菌叢を標的とした新規機能性ディスペプシア治療薬開発に向けた基盤研究	福居 顕文	消化器内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
十二指腸粘膜関連細菌叢のDysbiosisから十二指腸癌発癌への機序・経路の解明	土肥 統	消化器内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
抗腫瘍免疫におけるNK細胞と好中球細胞外トラップの相互作用に関する検討	土井 俊文	消化器内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
粘膜関連細菌叢と粘膜バリアを標的とした生活習慣病への治療応用	堅田 和弘	消化器内科	780,000	補○ 委 文部科学省
環状ジヌクレオチドの免疫賦活作用による新規腸管炎症治療戦略	尾松 達司	消化器内科	780,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
慢性肝疾患における門脈圧の流体力学的シミュレーション	石破 博	消化器内科	130,000	補○ 委 文部科学省
接触飛沫空気感染制御を目指した病原体の生存しにくい環境の創出と製品適用技術	廣瀬 亮平	消化器内科	4,000,000	補○ 委 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
非侵襲型消化管粘膜局所酸素飽和度測定装置の開発 「高性能コールドスネアポリペクミー専用スネアの開発研究」	井上 健	消化器内科	1,300,000	補○ 委 京都市
京丹後地域健康百寿因子探索研究と久山町研究・岩木町健診との連携多因子AI解析	的場 聖明	循環器内科	4,160,000	補○ 委 文部科学省
線維化セクレトームの転写制御ネットワーク解明と心不全治療応用	星野 温	循環器内科	5,590,000	補○ 委 文部科学省
CRISPRスクリーニングによるマイトファジー制御機構の解明と心不全治療への応用	樋口 雄亮	循環器内科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
急性冠症候群患者の非責任病変における至適マネジメントの追求	若菜 紀之	循環器内科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
多能性幹細胞とCRISPRスクリーニングを用いた拡張不全型心不全の治療標的探索	木谷 友哉	循環器内科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
慢性鼻副鼻腔炎は心房細動の発症要因になりうるか？	谷口 琢也	循環器内科	780,000	補○ 委 文部科学省
高精度ゲノム編集が可能にする疾患保護編集によるアルツハイマー病予防	日野 智博	循環器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
血管内皮細胞老化の分子基盤の解明と新規老化関連疾患予防・治療法開発への応用	池田 宏二	循環器内科	7,930,000	補○ 委 文部科学省
包括的高度慢性下肢虚血に対し、筋組織酸素飽和度(StO2)をモニタリングする近赤外線分光装置(NIRS)を使用した至適運動療法を確立する研究	的場 聖明	循環器内科	25,815,400	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
血管内皮細胞ウイルス感染の観点から明らかとするCOVID-19関連血栓症発症メカニズムと細胞老化の影響の解析	池田 宏二	循環器内科	13,000,000	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
血管内皮細胞ウイルス感染の観点から明らかとするCOVID-19関連血栓症発症メカニズムと細胞老化の影響の解析	池田 宏二	循環器内科	15,600,000	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
高親和性ACE2による変異株を網羅したCOVID-19治療薬開発	星野 温	循環器内科	100,100,000	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
尿細管上皮のNaチャンネル発現亢進を標的とした心腎連関に対する新規治療の確立	草場 哲郎	腎臓内科	390,000	補○ 委 文部科学省
間質圧の上昇が肺癌の病態に果たす役割の解明とその治療応用	徳田 深作	呼吸器内科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
肺癌分子標的治療の薬剤抵抗性に関わる新規コンパニオン診断法の開発	吉村 彰紘	呼吸器内科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
Stevens-Johnson症候群気道粘膜障害における自己免疫機序の解明	金子 美子	呼吸器内科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
RETがんにおける初期治療抵抗性のメカニズム解明と克服治療法の開発	谷村 恵子	呼吸器内科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
分子標的薬の初期抵抗性に関わるキナーゼシグナル伝達の解明とその克服治療法開発	森本 健司	呼吸器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
COPDにおけるステムセルエイジングの改善を目的とした粘液線毛輸送活性療法の開発	田宮 暢代	呼吸器内科	780,000	補○ 委 文部科学省
単一細胞解析を用いたバセドウ病における自己反応性T細胞の解明	橋本 善隆	内分泌・糖尿病・代謝内科	2,990,000	補○ 委 文部科学省
自己反応性T細胞を標的とした劇症1型糖尿病の進展予防法の解明	北川 暢子	内分泌・糖尿病・代謝内科	2,860,000	補○ 委 文部科学省
欧米化食によるDysbiosisを発酵食品が改善するメカニズムの解明	岡村 拓郎	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
自己反応性T細胞を標的とした緩徐進行1型糖尿病の進展予防法の解明	北川 暢子	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
飽和脂肪酸による骨格筋代謝障害・シグナル伝達障害発症機序の解明	千丸 貴史	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
骨格筋におけるmiR-23bの糖代謝改善作用の解明	中西 尚子	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
糖尿病診療支援人工知能のためのオンライン持続血糖測定器の研究開発	濱口 真英	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,300,000	補○ 委 京都市
普遍的成熟B細胞腫瘍モデル細胞の網羅的遺伝子編集による高悪性度病態形成機序の解明	水谷 信介	血液内科	2,340,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Galectin-9を介したマントル細胞リンパ腫のBCRシグナル活性化機序の解明	塚本 拓	血液内科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
全ての成熟リンパ系腫瘍の制御に向けたRSK2/AKT/S6K同時標的治療薬の開発	黒田 純也	血液内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
造血器腫瘍におけるMDSCを標的としたmiRNAインヒビターカクテル療法の開発	志村 勇司	血液内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
患者由来iPS細胞を用いた疾患特異的pDCの、病態解析と治療への応用	井上 拓也	膠原病・リウマチ・アレルギー科	2,600,000	補○ 委 文部科学省
進行性線維化を伴う膠原病関連間質性肺疾患における肺胞マクロファージの役割の解明	藤井 渉	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
ドーパミン受容体を介する肺線維化の病因機序の解明と新規治療薬の開発	川人 豊	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
iPS細胞由来免疫寛容性樹状細胞を用いた自己免疫疾患に対する新規細胞療法の開発	藤岡 数記	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
スフィンゴシン-1-リン酸シグナリングを用いたANCA関連血管炎の新たな治療開発	妹尾 高宏	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
ANCA関連血管炎の疾患レジストリ構築による個別化医療の推進	木田 節	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
Radiomics解析による大脳白質病変の病因診断、臨床転帰予測	尾原 知行	脳神経内科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
脳細胞由来エクソソームによるパーキンソン病と関連疾患の血液バイオマーカーの確立	大道 卓摩	脳神経内科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
ブルトン型チロシンキナーゼは重症筋無力症の新規治療標的となりうるか？	小島 雄太	脳神経内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
脳小血管病関連遺伝子に着目した一般集団における大脳白質病変の解析	水田 依久子	脳神経内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
解糖系酵素(PGK)活性促進による新規パーキンソン病治療戦略	笠井 高士	脳神経内科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
腸内細菌による脳梗塞発症機序の解明	渡辺 明子	脳神経内科	910,000	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
特発性全般てんかんの社会的認知機能-表情認知機能システムの解明	田中 章浩	脳神経内科	780,000	補○ 委 文部科学省
超音波検査・高密度表面筋電図同時測定システムによるサルコペニアの筋機能解明	辻 有希子	脳神経内科	520,000	補○ 委 文部科学省
ウェアラブル端末を用いたバイオメカニクス解析によるCMTのトレーニング理論の提案	能登 祐一	脳神経内科	390,000	補○ 委 文部科学省
筋萎縮性側索硬化症ハエモデルを用いた大腸菌由来アミロイドによる腸脳関連障害の解析	森井 芙貴子	脳神経内科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
腸管機能異常を定量化する血液バイオマーカー開発を通じた新しいパーキンソン病予防戦略	笠井 高士	脳神経内科	1,300,000	補○ 委 京都市
ロメリジン塩酸塩によるCADASIL患者に対する脳虚血イベント再発抑	水野 敏樹	脳神経内科	32,500,000	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
癌関連線維芽細胞に発現するイオン輸送体を標的とした新規治療法の開発	清水 浩紀	消化器外科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
細胞容積調整機構に注目した細胞生理学的アプローチによる大腸癌幹細胞機能解析	工藤 道弘	消化器外科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
サルコペニア併存消化器癌の血中microRNAによる腫瘍進展メカニズムの解明	木内 純	消化器外科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
食道癌における分泌型miRNAによる新規抗腫瘍免疫応答の抑制機構の解明と臨床応用	小松 周平	消化器外科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
癌幹細胞に発現する電位依存性カルシウムチャネルを標的とした胃癌新規治療法の開発	塩崎 敦	消化器外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
胃癌における容積活性化アニオンチャネルVAACの機能解析と低浸透圧療法への応用	當麻 敦史	消化器外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
膵癌幹細胞に発現する電位依存性カリウムチャネルを標的とした新規治療法の開発	原田 恭一	消化器外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
胃癌におけるSLCO2A1発現に基づく新たな腹腔内低浸透圧化学療法の開発	小菅 敏幸	消化器外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
食道癌の分泌型癌抑制microRNAを用いた治療感受性予測・核酸治療法の開発	藤原 斉	消化器外科	780,000	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
癌幹細胞に対するカルシウム輸送体制御による低浸透圧細胞破壊治療法の開発	竹本 健一	消化器外科	780,000	補○ 委 文部科学省
患者の体内で再生する自家結合組織代用血管の臨床応用の適応拡大をめざした多角的研究	神田 圭一	心臓血管外科	3,120,000	補○ 委 文部科学省
高圧処理技術にて殺細胞処理した皮膚組織を自己体内再生型血管移植片として用いる試み	山南 将志	心臓血管外科	2,600,000	補○ 委 文部科学省
生体内組織工学技術による結合組織膜を用いた先天性心疾患に対する肺動脈拡大術の試み	山南 将志	心臓血管外科	2,465,000	補○ 委 文部科学省
脱細胞化異種由来セルフリー・デバイスを核に患者体内で再生される代用血管の開発	神田 圭一	心臓血管外科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
組織再生能を最大限に誘導できる同種由来再生代用血管の脱細胞化処理法最適化への試み	川尻 英長	心臓血管外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
特殊施設を要さず手術室内で実現する、同種移植用・生体内再生誘導型代用血管の開発	渡辺 太治	心臓血管外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
同種・異種動物体内で作成する高信頼性生体内組織工学代用血管の最適な化学処理法開発	井上 知也	心臓血管外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
先天性心疾患の外科治療における生体組織工学を用いた自己結合組織膜の臨床応用	前田 吉宣	心臓血管外科	779,143	補○ 委 文部科学省
CT imagingを用いた血流解析による急性大動脈解離Stanford A型発症リスク因子の解明	法里 優	心臓血管外科	259,996	補○ 委 文部科学省
原発性肺癌におけるSpreadThroughAirSpaceの分子病態解明	井上 匡美	呼吸器外科	2,860,000	補○ 委 文部科学省
初代培養スフェロイドを用いた大腸癌肺転移気腔内伸展の病態解明	下村 雅律	呼吸器外科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
多重免疫染色による悪性胸腺上皮性腫瘍の新規biomarkerの探索	石原 駿太	呼吸器外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
がん微小環境に着目した肺癌に対する栄養療法の抗腫瘍効果の解明	岡田 悟	呼吸器外科	657,830	補○ 委 文部科学省
乳癌の癌治療関連骨減少に対するロモゾマップの有用性の検討	田口 哲也	内分泌・乳腺外科	910,000	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
アルゴンによる移植腎保護効果と至適投与方法の前臨床ミニブタ実験による解明	昇 修治	移植・一般外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
転移性神経芽腫シンジェニックマウスモデルによる外科治療戦略の最適化研究	坂井 宏平	小児外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
胆道閉鎖症の肝外胆管における異常免疫とその増強因子の解析	東 真弓	小児外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
MAPKおよびHippo経路阻害薬併用による神経芽腫薬剤耐性の克服と後療法治療モデル開発	竹本 正和	小児外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
横隔膜ヘルニアに対するダイレクトリプログラミング骨格筋細胞シートの開発	高山 勝平	小児外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
間葉系幹細胞由来エクソソーム羊水腔投与による横隔膜ヘルニアに対する胎児治療の開発	古川 泰三	小児外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
進行神経芽腫に対するMEK阻害剤の臨床応用に向けた耐性メカニズム探索	田中 智子	小児外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
オプトジェネティクス導入神経幹細胞を用いた各前駆細胞の系統別再生機能評価	梅林 大督	脳神経外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
Hedgehog経路の転写因子GLI2を標的とした膠芽腫新規療法の開発	谷川 成佑	脳神経外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
視覚芸術(漫画)を用いた医療イノベーション戦略研究	荻田 庄吾	脳神経外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
膠芽腫微小環境を含めたオートファジー機構の解析による新たな療法の開発	武内 勇人	脳神経外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
神経膠腫オルガノイドバンク構築による個別化治療の開発	高橋 義信	脳神経外科	520,000	補○ 委 文部科学省
磁気共鳴画像法を用いた普遍的筋質画像診断法の開発と有用性の検討	祐成 毅	整形外科	2,470,000	補○ 委 文部科学省
骨折予防によるADL改善を目指して—UTEを用いた骨質評価法の確立—	生駒 和也	整形外科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
血液検査による早期ロコモの推測システムの構築～健康寿命の延伸を目指して～	後藤 毅	整形外科	1,820,000	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
低酸素環境での新規分子HYBIDの制御による変形性関節症治療法の開拓	井上 裕章	整形外科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
磁場測定と深層学習を用いたiPS細胞由来心筋細胞の電気生理学的評価	吉田 隆司	整形外科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
体内時計に着目した温熱療法による軟骨代謝制御機構の解明	大久保 直輝	整形外科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
小児脊柱側弯症に対する学校検診での早期発見と動的脊柱装具による早期治療	高取 良太	整形外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
ヒト脂肪組織由来幹細胞と多血小板血漿を併用した新たな末梢神経再生法の開発	小田 良	整形外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
負荷強度に応じた椎間板のメカノバイオロジー変容機構の解明	外村 仁	整形外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
TSPAN12の骨肉腫細胞に対する影響	寺内 竜	整形外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
特発性大腿骨頭壊死症における大腿骨頭圧潰予防法の確立	林 成樹	整形外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
下腿義足の下肢アライメント予測ソフトウェアの開発～義足作製の標準化を目指して～	今井 寛	整形外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
新規photothermalDDSを用いた次世代OA温熱療法の開発	高橋 謙治	整形外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
新たな電気刺激法による骨格筋線維化予防一効果的な2次性サルコペニア治療法の開発一	遠山 将吾	整形外科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
関節リウマチに対するギャップ結合蛋白制御と運動療法による新規治療法の開発	土田 真嗣	整形外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
生体内自己溶解性金属インプラントの開発	岡 佳伸	整形外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
変形性関節症に対する新たな運動療法の確立一低酸素によるHIF-1 α 制御を用いて一	新井 祐志	整形外科	5,574,439	補○ 委 文部科学省
関節リウマチのサルコペニアに対する分子生物学的手法を利用した低負荷運動療法の開発	中川 周士	整形外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
鉄代謝制御因子ヘプシジンの解析による女性アスリート難治性貧血の病態解明	榎村 史織	産婦人科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
ERβをターゲットとした新たな子宮内膜症治療薬の分子基盤の確立	高岡 幸	産婦人科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
IL-9を標的とした増殖・炎症・免疫を制御する新たな子宮内膜症治療戦略	垂水 洋輔	産婦人科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
動脈硬化リスクを軽減する安全なホルモン補充療法の分子基盤確立	伊藤 文武	産婦人科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
ヘプシジンとPGC-1αのクロストークに基づく子宮内膜症治療の分子基盤の確立	片岡 恒	産婦人科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
エストロゲン伝達経路を標的とした子宮体癌新規診断・治療・予防アプローチの提唱	森 泰輔	産婦人科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
子宮体癌におけるエストロゲン関連受容体による治療抵抗性機構解明と新規治療法提唱	古株 哲也	産婦人科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
CDK4/6阻害剤を用いた子宮体がん新規治療法の確立	山本 拓郎	産婦人科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
STXBP1でんかん性脳症におけるαシヌクレイン神経毒性の解明と標的治療の探索	千代延 友裕	小児科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
腫瘍溶解ウイルスを用いた横紋筋肉腫に対するCAR-T細胞療法補完システムの開発	細井 創	小児科	5,590,000	補○ 委 文部科学省
遺伝子改変肥満マウスにおけるデアシルグレリンの抗肥満作用の機序解明	福原 正太	小児科	2,730,000	補○ 委 文部科学省
小児肥満と脂質メディエーターの関連性に関する調査研究	杉本 哲	小児科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
乳児急性リンパ性白血病に対するFLT3とCD19を標的としたCAR-T療法の開発	大曾根 眞也	小児科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
胞巣型横紋筋肉腫におけるPLAGL1-FOXO1融合遺伝子の機能解析	宮地 充	小児科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
エリスロポエチンによる褐色脂肪細胞の活性化機構の解明を介した新規肥満治療の探索	宮垣 知史	小児科	1,560,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
CAR-T細胞の免疫疲弊を回避できる分子標的薬併用療法の開発	富田 晃正	小児科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
ミグリオールの非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD)への効果の機序解明	杉本 哲	小児科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
CD19発現型AdVとCD19CAR-T細胞を組み合わせた遺伝子細胞治療戦略	吉田 秀樹	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
鶏卵漿尿膜法を利用した横紋筋肉腫組織移植3Dモデルの作成	菊地 顕	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
神経芽腫の自然退縮・分化に関わる新規予後良好分子マーカーの検討と治療応用	家原 知子	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
腸管オルガノイドを用いた、好酸球による炎症性腸疾患への関与機構の解明	加納 原	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
腫瘍近傍体液Exosome内microRNAによるラブドイド腫瘍の体液診断の開発	勝見 良樹	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
レプチン・メラノコルチン系摂食抑制シグナルに着目した小児肥満のエクソーム解析	中島 久和	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
Ph-like ALLに対するCAR-T細胞とJAK阻害薬の新規併用療法の開発	末松 正也	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
全身性エリテマトーデス(SLE)におけるB細胞を標的としたCAR-T細胞療法の開発	久保 裕	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
固形腫瘍の腫瘍微小環境改善を目指した複合的遺伝子改変T細胞療法の開発	柳生 茂希	小児科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
エリスロポエチンの腎線維化と間質浸潤マクロファージに及ぼす影響の検討	西田 眞佐志	小児科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
難治性小児白血病の病態解析と新規治療標的の探索	今村 俊彦	小児科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
BMPシグナルに着目した脊髄性筋萎縮症に対するSMN非依存的治療の探索	戸澤 雄紀	小児科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
エリスロポエチンの非アルコール性脂肪性肝疾患の治療に対する有用性の検証	都間 佑介	小児科	1,300,000	補○ 委	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
咽頭弓動脈の発生過程における時空間的レチノイン酸シグナルの解明	竹下 直樹	小児科	862,015	補○ 委 文部科学省
拡散強調画像を用いた早産児の中枢神経評価と神経学的予後との関連性の解明	長谷川 龍志	小児科	520,000	補○ 委 文部科学省
小児およびAYA世代の横紋筋肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発	細井 創	小児科	17,875,000	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
眼合併症型SJS/TEN発症における微生物関与の検証と病態解明ならびに発症予測	外園 千恵	眼科	6,500,000	補○ 委 文部科学省
ミトコンドリア機能とGDF15を軸とした緑内障の病態解明	三重野 洋喜	眼科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
視機能別に行う学習環境整備が普通学級に在籍するロービジョン児に与える影響	鎌田 さや花	眼科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
遺伝解析の統計的検出力を高めるための緑内障臨床情報クラスタリング手法の開発	森 和彦	眼科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
角膜内皮細胞における一次繊毛の角膜内皮疾患との関連性および機能解明	谷岡 秀敏	眼科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
in vivo 角膜内皮細胞制御法の開発を目指した細胞微小環境の統合的理解の構築	上野 盛夫	眼科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
中心性漿液性脈絡網膜症固有の脈絡膜異常に係る分子病態解明と適正医療確立	寺尾 信宏	眼科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
Rhoキナーゼ阻害剤を用いた角膜内皮におけるprimaryciliaの機能解析	堀内 稔子	眼科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
蒙像知覚野の網膜における位置の同定と近視進行機序の解明	後藤 周	眼科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
偽落屑物質の構造解析による偽落屑症候群の病態解明	野々村 美保	眼科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
高齢発症の因果律としての緑内障発症抵抗遺伝子の同定と動態解析	池田 陽子	眼科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
加齢と常在細菌叢の変化によるマイボーム腺脂質代謝制御機構の変調の解明	鈴木 智	眼科	1,430,000	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
次世代シーケンサーによる脂腺癌の発癌・転移遺伝子の解明と非観血的治療法の開発	渡辺 彰英	眼科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
miR-628による自然免疫を介した眼表面炎症制御機構の解明と新規治療法への応用	上田 真由美	眼科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
人工コラーゲン様ポリペプチドを用いた新規的黄斑円孔治療の最適化に向けた基礎的研究	小嶋 健太郎	眼科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
羊膜円孔の組織修復のメカニズムの解明、及び羊膜を用いた治療の可能性	田中 寛	眼科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
角化と非角化を制御する分子メカニズム機構の解明	北澤 耕司	眼科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
角膜内皮細胞運命を規定する代謝プログラミングの階層性と組織機能不全病態の解明	丸山 悠子	眼科	910,000	補○ 委 文部科学省
涙液油層機能を維持する生理活性脂質の応用をめざした基礎研究と臨床基盤の確立	横井 則彦	眼科	910,000	補○ 委 文部科学省
エピジェネティック制御機構による血管新生・瘢痕形成AMD病態の抑制	平本 菜央	眼科	520,000	補○ 委 文部科学省
細胞外小胞粒子を介するRPE/Mp相互作用解析による斬新な創薬標的創出	羽室 淳爾	眼科	390,000	補○ 委 文部科学省
細胞間代謝干渉(同調、競合)によるヒト角膜内皮機能不全病態増悪回路の制御法開発	木下 茂	特任講座 感覚器未来医療学	3,380,000	補○ 委 文部科学省
長期予後成績に優れる移植用ヒト角膜内皮細胞選別法の確立	戸田 宗豊	特任講座 感覚器未来医療学	780,000	補○ 委 文部科学省
SJS/TEN眼後遺症の予後改善に向けた実用的研究	外園 千恵	眼科	11,700,000	補○ 委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
アレルギー性皮膚疾患の炎症と痒みにおける血小板活性化因子の役割の解明	峠岡 理沙	皮膚科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
皮膚付属器悪性腫瘍におけるがんオルガノイドの樹立	在田 貴裕	皮膚科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
進行期乳房外Paget病に対する免疫療法の開発	加藤 則人	皮膚科	1,300,000	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
乳房外パジェット病におけるがん微小環境の解明	浅井 純	皮膚科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
円形脱毛症におけるIKZF1の免疫制御機構の解明 ならびに新規抗炎症治療薬への応用	荒川 幸保	皮膚科	910,000	補○ 委 文部科学省
前立腺がんにおける概日時計分子基盤と細胞分化 制御異常の解明	大橋 宗洋	泌尿器科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
ダイレクト・リプログラミングによる間質性膀胱炎の invivo再生治療	井上 裕太	泌尿器科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
縫合を要しない尿路再建術の開発と検討	山田 剛司	泌尿器科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
前立腺癌外照射治療におけるアーチファクトレス マーカーの継続研究	沖原 宏治	泌尿器科	910,000	補○ 委 文部科学省
複数の前立腺癌病巣のうち個体の予後を規定する 癌病巣を特定する研究	岩田 健	泌尿器科	390,000	補○ 委 文部科学省
癌微小環境を標的としたV γ 9V δ 2T細胞癌免疫細胞 療法の基盤構築	清水 輝記	泌尿器科	260,000	補○ 委 文部科学省
医療費適正化に資する前立腺癌病巣標的化凍結 治療:医師主導治験	浮村 理	泌尿器科	59,800,000	補 委○ 国立研究開発法 人日本医療研究 開発機構
声帯硬化性病変に対する再生医療の重症度に応じた 体系化のための基礎的研究	平野 滋	耳鼻咽喉科	4,159,079	補○ 委 文部科学省
声帯癬痕に対する選択的エストロゲン受容体修飾 薬の作用機序の解明と新規治療法の開発	椋代 茂之	耳鼻咽喉科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
ヒト内耳オルガノイドにおける内耳感覚上皮幹細胞 の同定と単離培養	中村 高志	耳鼻咽喉科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
高電圧パルス電流併用干渉波電気刺激および薬 物療法による統合的嚥下障害治療の研究	杉山 庸一郎	耳鼻咽喉科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
気道防御反射強化による嚥下性肺炎予防のための 脳機能賦活化メカニズムの研究	布施 慎也	耳鼻咽喉科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
痙攣性発声障害の病態解明に迫る脳幹における発 声中枢調整機構の解明	金子 真美	耳鼻咽喉科	1,170,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
癌微小環境マッピングに基づく甲状腺濾胞癌の被膜浸潤機構の解明	大村 学	耳鼻咽喉科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
多重免疫染色を用いた頭頸部癌不均一性の空間・時間的モニタリング法の最適化	辻川 敬裕	耳鼻咽喉科	910,000	補○ 委 文部科学省
頭頸部癌薬物療法による免疫微小環境変化に基づく治療効果予測バイオマーカーの開発	竹中 まり	耳鼻咽喉科	909,650	補○ 委 文部科学省
視運動性眼振・後眼振における視野角・空間周波数の違いによる視覚情報処理の解明	瀧 正勝	耳鼻咽喉科	260,000	補○ 委 文部科学省
内受容感覚の予測的処理に基づいた高齢者の遠隔型詐欺被害防止プログラムの開発	上野 大介	精神科・心療内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
認知症初期集中支援チームを利用した軽度行動障害への多職種連携早期介入モデルの構築	松岡 照之	精神科・心療内科	780,000	補○ 委 文部科学省
電気けいれん療法がもたらす認知的柔軟性:脳画像変化からメカニズムを解明する	渡辺 杏里	精神科・心療内科	780,000	補○ 委 文部科学省
精神科入院環境における暴力等の粗暴行為および違反行為に関する臨床疫学的研究	綾仁 信貴	精神科・心療内科	650,000	補○ 委 文部科学省
バーチャルリアリティ技術を用いた契約場面における意思決定能力評価法の開発	加藤 佑佳	精神科・心療内科	520,000	補○ 委 文部科学省
身体症状および関連症群に対するグループ認知行動療法の効果の実証	富永 敏行	精神科・心療内科	130,000	補○ 委 文部科学省
高い抗腫瘍効果と副作用軽減を同時に目指す新規放射線治療法	長澤 慎介	放射線科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
高線量率小線源治療法におけるモンテカルロ法を用いた線量分布検証システムの開発	武中 正	放射線科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
凍結療法における隣接臓器傷害防止のための生体吸収性バルーン型スパーサーの開発	廣田 達哉	放射線科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
血管塞栓モデルを用いたコンピュータ流体解析によるNBCA-Lp混合液の動態解明	林 奈津子	放射線科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
乳房MRI・非腫瘍性造影効果に対するマルチパラメトリック診断手法の確立	後藤 真理子	放射線科	1,430,000	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補○ 委	
肝臓がんに対する機能的画像を用いたスキャニング陽子線治療戦略最適化に向けた検討	尾方 俊至	放射線科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
国際標準化にむけた組織内照射とIMRTを用いた子宮頸がんの適応照射法の開発と評価	鈴木 弦	放射線科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
呼気ガス測定による陽子線治療後の気道炎症の非侵襲的モニタリングシステムの開発	木元 拓也	放射線科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
経直腸超音波とMRI画像fusionを用いた子宮頸癌の画像誘導小線源治療の開発	清水 大介	放射線科	910,000	補○ 委	文部科学省
画像診断AIの開発に必要な教師データ精製に関する探索的研究	高橋 健	放射線科	910,000	補○ 委	文部科学省
放射線治療ワークフローに即した深層学習を用いた新たな肺機能画像取得システムの開発	梶川 智博	放射線科	910,000	補○ 委	文部科学省
MRI画像による虚血ペナンプラ領域における再灌流後の最終梗塞巣の予測	田添 潤	放射線科	910,000	補○ 委	文部科学省
低出生体重児の発達予測における画像バイオマーカーの開発	赤澤 健太郎	放射線科	780,000	補○ 委	文部科学省
呼吸位相を加味した3次元位置情報による標的体内運動の4次元解析システムの開発	相部 則博	放射線科	780,000	補○ 委	文部科学省
子宮内膜症が子宮筋層にもたらす影響:MRIによる灌流、拡散、蠕動、硬度の検討	高畑 暁子	放射線科	650,000	補○ 委	文部科学省
一次造血とその循環を担う内皮ネットワーク形成機構の解明	佐波 理恵	放射線科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
篩照射と画像融合技術を用いた新しいBNCT治療技術の開発	山崎 秀哉	放射線科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
脳MRI計測による活動—血流—温度の局所領域相関に関する研究	酒井 晃二	放射線科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
COVID-19に対するスパイク蛋白CpG-ODN経鼻投与ワクチンの開発	佐和 貞治	麻酔科	4,680,000	補○ 委	文部科学省
オピオイド誘発性痛覚過敏の末梢メカニズム	山北 俊介	麻酔科	2,730,000	補○ 委	文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
痛覚プライミングによるモルヒネ誘発術後慢性痛の発症メカニズム	堀井 靖彦	麻酔科	2,730,000	補○ 委 文部科学省
敗血症誘発性高血糖病態におけるTxnipの役割解明と治療への展開	石井 祥代	麻酔科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
緑膿菌由来エクソソームを用いた新規ワクチン療法の開発	加藤 秀哉	麻酔科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
新型コロナウイルス感染症に対する特異的高力価免疫グロブリン製剤の開発	木下 真央	麻酔科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
単球系細胞の小胞体ストレスによる食能低下に対し鎮静薬投与は保護的に作用するのか	飯田 淳	麻酔科	780,000	補○ 委 文部科学省
コンパートメントカルチャーを用いた神経障害性疼痛のメカニズム解明	柴崎 雅志	麻酔科	650,000	補○ 委 文部科学省
新規鎮痛因子GRK2インタクトームとミトコンドリア連関による慢性痛治療の確立	天谷 文昌	疼痛・緩和ケア科	5,460,000	補○ 委 文部科学省
炎症性ミトコンドリアによる慢性痛発症の可能性とその機序の解明	天谷 文昌	疼痛・緩和ケア科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
活性型第XI因子拮抗薬の拮抗治療および凝固モニタリング法の確立	小川 覚	疼痛・緩和ケア科	650,000	補○ 委 文部科学省
高齢者の活動が健康寿命に与える影響 一京丹後長寿コホート研究から一	三上 靖夫	リハビリテーション科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
硝子体疾患における眼内Tリンパ球6-colorflowcytometry解析	稲葉 亨	臨床検査部	689,000	補○ 委 文部科学省
肝細胞における免疫反応と毛細管破壊との関連の解明、移植後肝生検への応用	宮川 文	病院病理部	1,040,000	補○ 委 文部科学省
丹後地域における認知症・老化についての縦断的疫学研究(丹後生き生き長寿研究)	高橋 央	救急医療科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
院外心停止患者に対する生理学的指標を用いた心肺蘇生法の有効性の検討	松山 匡	救急医療科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
細胞老化に着目した口腔粘膜炎に対する予防・治療薬の検討	大迫 文重	歯科	1,560,000	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
体内時計の乱れが歯周炎の病態に与える影響～マウスコホート系を用いた前向き研究～	小野 龍太郎	歯科	1,461,076	補○ 委 文部科学省
架橋ナノゲルを用いた骨・軟骨オルガノイドの構築と量子ビームによるナノ構造解析	山本 俊郎	歯科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
ラマン分光法を用いた歯周病菌によるアルツハイマー病発症の分子病態の解明	足立 圭司	歯科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
口腔カンジダ症に対する革新的セラノスティクスシステムの開発	金村 成智	歯科	910,000	補○ 委 文部科学省

小計 4

計 244件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3-2)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Seko Yuya, Yamaguchi K, Yano K, et al.	消化器内科	The additive effect of genetic and metabolic factors in the pathogenesis of nonalcoholic fatty liver disease	Scientific Reports. 2022 Oct; 12(1):17608	Original Article
2	Seko Yuya, Kawanaka M, Fujii H, et al.	消化器内科	Age-dependent effects of diabetes and obesity on liver-related events in non-alcoholic fatty liver disease: Subanalysis of CLIONE in Asia	Journal of Gastroenterology and Hepatology. 2022 Dec; 37(12): 2313-2320	Original Article
3	Takemura Masashi, Mochizuki K, Harada Y, et al.	消化器内科	Label-free Assessment of the Nascent State of Rat Non-alcoholic Fatty Liver Disease Using Spontaneous Raman Microscopy	Acta Histochem Cytochem. 2022 Apr; 55(2): 57-66	Original Article
4	Kataoka Seita, Moriguchi M, Okishio S, et al.	消化器内科	Re-administration of nivolumab after immune checkpoint inhibitor-induced cholangitis: the first reported case	Clin J Gastroenterol. 2022; Apr; 15(2): 467-474	Original Article
5	Yamaguchi Kanji, Seko Y, Sakai T, et al.	消化器内科	Comparison of portal vein hemodynamics with ultrasound-based elastography for the prediction of liver fibrosis in patients with chronic liver disease	Scientific Reports. 2023 Feb; 13(1): 3425	Original Article
6	Yasuda Hiroaki, Kataoka K, Miyake H, et al.	消化器内科	Spontaneous regression in solid pseudopapillary neoplasm of pancreas	Clin J Gastroenterol. 2023 Feb;16(1):105-109	Case report
7	Dohi Osamu, Ono Shoko, Kawada Kenro et al.	消化器内科	Linked color imaging provides enhanced visibility with a high color difference in upper gastrointestinal neoplasms.	J Gastroenterol Hepatol. 2023 Jan;38(1):79-86.	Original Article
8	Satoshi Sugino, Ken Inoue, Reo Kobayashi, et al.	消化器内科	Association Between the Cool Temperature-dependent Suppression of Colonic Peristalsis and Transient Receptor Potential Melastatin 8 Activation in Both a Randomized Clinical Trial and an Animal Model	J Neurogastroenterol Motil. 2022 Oct; 28(4): 693-705.	Original Article
9	Iwai Naoto, Dohi O, Yamada S et al.	消化器内科	Prognostic risk factors associated with esophageal squamous cell carcinoma patients undergoing endoscopic submucosal dissection: a multi-center cohort study.	Surg Endosc. 2022 Apr;36(4):2279-2289.	Original Article
10	Iwai Naoto, Sakai H, Oka K et al.	消化器内科	Predictors of response to anamorelin in gastrointestinal cancer patients with cachexia: a retrospective study.	Support Care Cancer. 2023 Jan;31(2):115	Original Article
11	Iwai Naoto, Okuda T, Tsuji T et al.	消化器内科	Over-the-scope clip closure of gastric endoscopic submucosal dissection-induced ulcer in a patient with bleeding tendency.	JGH Open. 2022 Sep 15;6(11):799-800.	Case report
12	Sugaya T, Takagi T, Uchiyama K et al.	消化器内科	Serum titer of neutralizing antibodies after COVID-19 vaccination in Japanese patients with inflammatory bowel disease.	J Clin Biochem Nutr. 2023 Mar;72(2):183-188.	Original Article
13	Takagi T, Okayama T, Asai J et al.	消化器内科	Topical application of sustained released-carbon monoxide promotes cutaneous wound healing in diabetic mice.	Biochem Pharmacol. 2022 May;199:115016.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
14	Kitae H, Takagi T, Naito Y et al.	消化器内科	Gut Microbiota Associated with Clinical Relapse in Patients with Quiescent Ulcerative Colitis.	Microorganisms. 2022 May 18;10(5):1044.	Original Article
15	Nishi Masahiro, Uchino E, Okuno Y, et al.	循環器内科	Robust prognostic prediction model developed with integrated biological markers for acute myocardial infarction.	PLoS One. 2022 Nov 3;17(11):e0277260.	Original Article
16	Ozawa Takaaki, Kimura M, Takemoto R, et al.	循環器内科	Acute Renal Infarction and Cholesterol Crystal Embolism Due to Plaque Rupture in a Renal Artery.	Circ J. 2022 Dec 23;87(1):151.	Original Article
17	Urata Ryota, Ikeda K, Yamazaki E, et al.	循環器内科	Senescent endothelial cells are predisposed to SARS-CoV-2 infection and subsequent endothelial dysfunction.	Sci Rep. 2022 Jul 25;12(1):11855.	Original Article
18	Takai Shigeki, Nakanishi N, Yokota I, et al.	循環器内科	Clot-regression effects of rivaroxaban in venous thromboembolism treatment in cancer patients—a prospective interventional study.	Sci Rep. 2022 Dec 13;12(1):21569.	Original Article
19	Kuwabara Kensuke, Zen K, Yashige M, et al.	循環器内科	Cystatin C in risk prediction after transcatheter aortic valve replacement: a retrospective analysis.	ESC Heart Fail. 2022 Aug;9(4):2601–2609.	Original Article
20	Yamano Michiyo, Nakamura T, Yamano T, et al.	循環器内科	A Case of Biventricular Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy: Echocardiographic Diagnosis.	Tex Heart Inst J. 2023 Jan 1;50(1):e217683.	Case report
21	Senoo Keitaro, Yukawa A, Ohkura T, et al.	循環器内科	Depression and quality of life in older adults with atrial fibrillation: A cross-sectional community-based study.	Geriatr Gerontol Int. 2022 Jul;22(7):505–510.	Original Article
22	Alcantara MC, Higuchi Y, Kirita Y, et al.	循環器内科	Deep Mutational Scanning to Predict Escape from Bebtelovimab in SARS-CoV-2 Omicron Subvariants.	Vaccines (Basel). 2023 Mar 22;11(3):711.	Original Article
23	Hori Yusuke, Kitani T, Yanishi K, et al.	循環器内科	Intravenous administration of human Muse cells recovers blood flow in a mouse model of hindlimb ischemia.	Front Cardiovasc Med. 2022 Nov 11;9:981088.	Original Article
24	Kawamata Hirofumi, Kawasaki T, Sakai C, et al.	循環器内科	Simple Phonocardiography with the Ankle-Brachial Index Measurement System as a Tool for Detecting Fourth Heart Sounds of Hypertrophic Cardiomyopathy.	Int Heart J. 2022 Jul 30;63(4):729–733.	Original Article
25	Miyawaki Daisuke, Yamada H, Saburi M, et al.	循環器内科	Maternal high-fat diet promotes calcified atherosclerotic plaque formation in adult offspring by enhancing transformation of VSMCs to osteochondrocytic-like phenotype.	Heliyon. 2022 Sep 15;8(9):e10644.	Original Article
26	Kadoya Yoshito, Zen K, Tamaki N, et al.	循環器内科	Serial changes in cardiac sympathetic nervous function after transcatheter aortic valve replacement: A prospective observational study using 123I-meta-iodobenzylguanidine imaging.	J Nucl Cardiol. 2022 Oct;29(5):2652–2663.	Original Article
27	Yashige Masaki, Zen K, Takamatsu K, et al.	循環器内科	Additional balloon aortic valvuloplasty to overcome the difficult removal of a self-expandable transcatheter aortic valve system due to valve infolding.	Catheter Cardiovasc Interv. 2022 Dec;100(7):1331–1335.	Case report
28	Suzuki Yosuke, Kami D, Taya T, et al.	循環器内科	ZLN005 improves the survival of polymicrobial sepsis by increasing the bacterial killing via inducing lysosomal acidification and biogenesis in phagocytes.	Front Immunol. 2023 Feb 3;14:1089905.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
29	Seki Tomotsugu, Murata M, Takabayashi K, et al.	循環器内科	Cardiac Rehabilitation for Patients With Stable Ischemic Heart Disease Without Revascularization – Rationale and Design of a Single-Arm Pilot Study.	Circ Rep. 2023 Feb 25;5(3):90-94.	Original Article
30	Senoo Keitaro, Yukawa A, Ohkura T, et al.	循環器内科	The impact of home electrocardiograph measurement rate on the detection of atrial fibrillation recurrence after ablation: A prospective multicenter observational study.	Int J Cardiol Heart Vasc. 2023 Jan 19;44:101177.	Original Article
31	Takigami Masao, Nakanishi N, Tsubata H, et al.	循環器内科	Efficacy and safety of guide extension catheter in balloon pulmonary angioplasty for treatment of complex lesions in chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	PLoS One. 2023 Jan 27;18(1):e0280683.	Original Article
32	Fujioka Ayumu, Yanishi K, Yukawa A, et al.	循環器内科	A Multicenter Prospective Interventional Trial of Therapeutic Angiogenesis Using Bone Marrow-Derived Mononuclear Cell Implantation for Patients With Critical Limb-Threatening Ischemia Caused by Thromboangiitis Obliterans.	Circ J. 2023 Mar 10. (オンライン)	Original Article
33	Uehara-Watanabe Noriko, Okuno-Ozeki N, Nakamura I, et al.	腎臓内科	Proximal tubular epithelia-specific transcriptomics of diabetic mice treated with dapagliflozin.	Heliyon. 2022 Sep 13;8(9):e10615.	Original Article
34	Morimoto K, Uchino J, Yokoi T et al.	呼吸器内科	Early discontinuation of induction therapy in chemoimmunotherapy as an effective alternative to the standard regimen in patients with non-small cell lung cancer: a retrospective study	Journal of Cancer Research and Clinical Oncology. 2022 Sep;148(9):2437-2446.	Original Article
35	Morimoto K, Yamada T, Morimoto Y et al.	呼吸器内科	A real-world study on the safety of the extended dosing schedule for nivolumab and pembrolizumab in patients with solid tumors	International Immunopharmacology. 2022 Jul;108:108775.	Original Article
36	Morimoto K, Yamada T, Takeda T et al.	呼吸器内科	Efficacy and Safety of Programmed Death-Ligand 1 Inhibitor Plus Platinum-Etoposide Chemotherapy in Patients With Extensive-Stage SCLC: A Prospective Observational Study	JTO Clinical and Research Reports. 2022 Jun 8;3(7):100353.	Original Article
37	Morimoto K, Sawada R, Yamada T et al.	呼吸器内科	A Real-World Analysis of Immune Checkpoint Inhibitor-Based Therapy After Osimertinib Treatment in Patients With EGFR-Mutant NSCLC	JTO Clinical and Research Reports. 2022 Aug 6;3(9):100388.	Original Article
38	Yoshimura A, Yamada T, Serizawa M et al.	呼吸器内科	High levels of AXL expression in untreated EGFR-mutated non-small cell lung cancer negatively impacts the use of osimertinib	Cancer Science. 2023 Feb;114(2):606-618.	Original Article
39	Matsui Y, Yamada T, Morimoto K et al.	呼吸器内科	Efficacy and Safety of Paclitaxel/nab-paclitaxel Chemotherapy for Patients With Relapsed Small Cell Lung Cancer	Anticancer Research. 2022 Oct;42(10):4921-4928.	Original Article
40	Seto Y, Kaneko Y, Mouri T et al.	呼吸器内科	Changes in serum transforming growth factor-beta concentration as a predictive factor for radiation-induced lung injury onset in radiotherapy-treated patients with locally advanced lung cancer	Translational Lung Cancer Research. 2022 Sep;11(9):1823-1834.	Original Article
41	Uda S, Yamada T, Yoshimura A et al.	呼吸器内科	Clinical impact of amrubicin monotherapy in patients with relapsed small cell lung cancer: a multicenter retrospective study	Anticancer Research. 2022 Oct;42(10):4921-4928.	Original Article
42	Takayama K, Takiguchi T, Komura N et al.	呼吸器内科	Efficacy and safety of anamorelin in patients with cancer cachexia: Post-hoc subgroup analyses of a placebo-controlled study	Cancer Medicine. 2023 Feb;12(3):2918-2928.	Original Article
43	Katayama Y, Yamada T, Tanimura K et al.	呼吸器内科	Adaptive resistance to lorlatinib via EGFR signaling in ALK-rearranged lung cancer	NPJ Precision Oncology. 2023 Jan 26;7(1):12.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
44	Morita-Tanaka S, Yamada T, Takayama K	呼吸器内科	The landscape of cancer cachexia in advanced non-small cell lung cancer: a narrative review	Translational Lung Cancer Research. 2023 Jan 31;12(1):168-180.	Review
45	Katayama Y, Yamada T, Morimoto K et al.	呼吸器内科	TTF-1 Expression and Clinical Outcomes of Combined Chemoimmunotherapy in Patients With Advanced Lung Adenocarcinoma: A Prospective Observational Study	JTO Clinical and Research Reports. 2023 Mar 7;4(4):100494.	Original Article
46	Ishida M, Morimoto K, Yamada T et al.	呼吸器内科	Early Tumor Shrinkage as a Predictor of Favorable Treatment Outcomes in Patients With Extensive-Stage SCLC Who Received Programmed Cell Death-Ligand 1 Inhibitor Plus Platinum-Etoposide Chemotherapy: A Prospective Observational Study	JTO Clinical and Research Reports. 2023 Feb 28;4(4):100493.	Original Article
47	Matsui Y, Yamada T, Morimoto K et al.	呼吸器内科	Efficacy and Safety of Paclitaxel/nab-paclitaxel Chemotherapy for Patients With Relapsed Small Cell Lung Cancer	Anticancer Research. 2022 Oct;42(10):4921-4928.	Original Article
48	Hamaguchi Masahide, Yoshimura Y, Nakajima H, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Insulin dose reduction in dapagliflozin combination therapy for type 1 diabetes mellitus: the RISING-STAR study.	J. Clin. Biochem. Nutr. 2022 Sep; 71(2): 158-164	Original Article
49	Okamura Takuro, Hamaguchi M, Tominaga H, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Characterization of Peripheral Blood TCR in Patients with Type 1 Diabetes Mellitus by BD Rhapsody™ VDJ CDR3 Assay.	Cells 11(10) 2022 May; 1623	Original Article
50	Okamura Takuro, Hamaguchi M, Bamba R, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Brazilian green propolis improves gut microbiota dysbiosis and protects against sarcopenic obesity.	J. Cachexia Sarcopenia Muscle. 2022 Dec; 13(6): 3028-3047	Original Article
51	Nakajima Hanako, Nakanishi N, Miyoshi T, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Inulin reduces visceral adipose tissue mass and improves glucose tolerance through altering gut metabolites.	Nutr. Metab. 2022 Jul; 19(1): 50	Original Article
52	Nakajima Hanako, Okada H, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Low aspartate aminotransferase/alanine aminotransferase ratio is a predictor of diabetes incidence in Japanese people: Population-based Panasonic cohort study 5.	Diabetes Metab. Res. Rev. 2022 Sep; 38(6): e3553	Original Article
53	Nakajima Hanako, Okada H, Kogure A, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Multicenter, Open Label, Randomized Controlled Superiority Trial for Availability to Reduce Nocturnal Urination Frequency: Study Protocol for a TOP-STAR Study.	Diabetology. 2022 Oct; 3(4): 620-633	Original Article
54	Kitagawa Nobuko, Ushigome E, Kitagawa N, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Diabetic nephropathy ameliorated in patients with normal home blood pressure compared to those with isolated high home systolic blood pressure: A 5-year prospective cohort study among patients with type 2 diabetes mellitus.	Diab. Vasc. Dis. Res. 2022 May-Jun; 19(3): 14791641221098193	Original Article
55	Kondo Yuriko, Hashimoto Y, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Effects of Smoking on the Gut Microbiota in Individuals with Type 2 Diabetes Mellitus.	Nutrients. 2022 Nov; 14(22): 4800	Original Article
56	Yoshimura Takashi, Ushigome E, Hata S, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Impact of sustained hypertension on new cardiovascular events in patients with type 2 diabetes: KAMOGAWA-HBP study.	J. Clinical Hypertension. 2022 Dec; 24(12): 1561-1567	Original Article
57	Kobayashi Ayaka, Okada H, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Metabolic phenotypes and incident type 2 diabetes: Population-based Panasonic cohort study 6.	Obesity (Silver Spring) 2022 Nov; 30(11): 2286-2293	Original Article
58	Takegami Maya, Ushigome E, Hata S, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Home-measured pulse pressure is a predictor of cardiovascular disease in type 2 diabetes: The KAMOGAWA-HBP study.	Nutr. Metab. Cardiovasc. Dis. 2022 Oct; 32(10): 2330-2337	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
59	Hata Shinnosuke, Asano M, Tominaga H, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Bilateral Pheochromocytoma with Germline MAX Variant without Family History.	Clin. Pract. 2022 May; 12: 299-305	Original Article
60	Hata Shinnosuke, Ushigome E, Yoshimura T, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Maximum home blood pressure and cardiovascular outcomes in patients with type 2 diabetes: KAMOGAWA-HBP study.	J. Hypertens. 2022 Dec; 40: 2430-2437	Original Article
61	Hata Shinnosuke, Okamura T, Kobayashi A, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Gut Microbiota Changes by an SGLT2 Inhibitor, Luseogliflozin, Alters Metabolites Compared with Those in a Low Carbohydrate Diet in db/db Mice.	Nutrients. 2022 Aug; 14(17): 3531	Original Article
62	Tominaga Hiroyuki, Hamaguchi M, Ando S, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Individuals with Type 2 Diabetes Mellitus Tend to Select Low-Carbohydrate, Low-Calorie Food Menus at Home on Diet Application.	Nutrients. 2022 Oct.; 14(20): 4290	Original Article
63	Munekawa Chihiro, Hashimoto Y, Kitagawa N, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Effect of Teriparatide on Bone Mineral Density and Trabecular Bone Score in Type 2 Diabetic Patients with Osteoporosis: A Retrospective Cohort Study.	Medicina (Kaunas) 2022 May; 58(4): 481	Original Article
64	Kobayashi Genki, Hashimoto Y, Takahashi F, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Impact of Eating Speed on Muscle Mass in Older Patients With Type 2 Diabetes: A Prospective Study of KAMOGAWA-DM Cohort.	Frontiers in Nutrition. 2022 Jun; 9: 919124	Original Article
65	Kobayashi Genki, Okada H, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Dyslipidemia and 10-year diabetes incidence in Japanese people: Population-based Panasonic cohort study 9.	Frontiers in Endocrinology. 2022 Aug; 13: 95778	Original Article
66	Okamura Takuro, Hamaguchi M, Hasegawa Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Oral Exposure to Polystyrene Microplastics of Mice on a Normal or High-Fat Diet and Intestinal and Metabolic Outcomes	Environ Health Perspect . 2023 Feb; 131(2):27006	Original Article
67	Kobayashi Genki, Okada H, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Association between uric acid levels and incidence of type 2 diabetes: Population-based Panasonic cohort study 11	Diabetes Res Clin Pract. 2023 Jan;195:110179	Original Article
68	Sakai Kimiko, Asano M, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	A Cortisol-Secreting Adrenal Adenoma Combined With a Micro-Pheochromocytoma: Case Report and Literature Review	Clin Med Insights Endocrinol Diabetes. 2023 Jan; 16;16:11795514221148556	Original Article
69	Hata Shinnosuke, Ushigome E, Hosomi Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Impact of continued high blood pressure on the progression of diabetic nephropathy after 10 years: KAMOGAWA-HBP study	Hypertens Res. 2023 Mar;46(3):565-574	Original Article
70	Matsui Takaaki, Okada H, Hamaguchi M,	内分泌・糖尿病・代謝内科	The association between the reduction of body weight and new-onset type 2 diabetes remission in middle-aged Japanese men: Population-based Panasonic cohort study 8	Front Endocrinol (Lausanne). 2023 Jan 16;13:1019390.	Original Article
71	Taminishi-Katsuragawa Y, Shimura Y, Inoue Y et al.	血液内科	Gastric myeloid sarcoma mimicking a scirrhus gastric cancer.	Intern Med, 61:1231-1235, 2022.Apr	Case report
72	Muramatsu A, Kobayashi T, Kawaji-Kanayama Y et al.	血液内科	Investigators. Pretreatment serum level of interleukin-6 predicts carfilzomib-induced hypertension in relapsed/refractory multiple myeloma.	Leuk Lymphoma, 11, 1-8, 2022.Jul	Original Article
73	Fujino T, Maruyama D, Miyagi-Maeshima A et al.	血液内科	The outcome of watchful waiting in patients with previously treated follicular lymphoma.	Cancer Med, 11, 2106-2116, 2022.May	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
74	Maekura C, Muramatsu A, Nagata H et al.	血液内科	Clinical implication of the effect of the production of neutralizing antibodies against SARS-Cov-2 for chronic immune thrombocytopenia flare-up associated with COVID-19 infection; a case report and the review of literature.	Infect Drug Resist, 15, 2723-2728, 2022.May	Case report
75	Mizuhara K, Kobayashi T, Nakao M et al.	血液内科	Watchful waiting is an acceptable treatment option for asymptomatic primary ocular adnexal mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma: a retrospective study.	Cancer Med, 12, 3134- 3144, 2023.Feb	Original Article
76	Inoue Y, Hirakawa K, Hayata H et al.	血液内科	Neurolymphomatosis of cranial nerves as the responsible lesions for the vocal cord paralysis and facial nerve palsy in a patient with diffuse large B-cell lymphoma.	Ann Hematol, 102, 481- 482, 2023.Feb	Case report
77	Onishi A, Matsumura- Kimoto Y, Mizutani S et al.	血液内科	Impact of treatment with anti-CD20 monoclonal antibody on the production of neutralizing antibody against anti-SARS-CoV-2 vaccination in mature B-cell neoplasms.	Infect Drug Resist, 16, 509-519, 2023.Jan	Original Article
78	Tanaka Eijirou ,Nagakane Yoshinari et.al.	脳神経内科	Early Recurrence in Patients with Symptomatic, Non-Cardioembolic, Internal Carotid Artery Occlusion.	J Stroke Cerebrovasc Dis.2022 Aug;31;31(8):106571	Original Article
79	Kojima yuta,Noto Yu-Ichi,at. Al.	脳神経内科	Serum pentraxin 3 concentration correlates with disease severity in patients with myasthenia gravis.	Clin Neurol Neurosurg.2022 Jul,19; 107371: 220Sep	Original Article
80	Kitaoji Takamasa ,Noto Yu- Ichi,et.al.	脳神経内科	Decreased initial compound muscle action potential amplitudes in myasthenia gravis.	Neurol Clin Neurosci. 2022 Aug,15;10(5): 245- 251,	Original Article
81	Fukunaga Daiki,Fujinam i Jun,et.al.	脳神経内科	A case of peripheral-type facial palsy with dysgeusia due to pontine infarction: A case report.	Neurol Clin Neurosci.2022 Sep,6; 10: 325-327	Case report
82	Yamamoto Chie, Harada T, Hayata H	感染症科	A case of adult multisystem Langerhans histiocytosis successfully treated by smoking cessation and radiotherapy for bone lesion	Clin Case Rep 14;10(9):e6344. doi: 10.1002/ccr3.6344,. 2022 Sep	Case report
83	Hiroki Shimizu, Katsurahara K, Inoue H, et al.	消化器外科	NADPH Oxidase 2 Has a Crucial Role in Cell Cycle Progression of esophageal Squamous Cell Carcinoma	Annals of Surgical Oncology. 29(13) :8677- 8687, 2022 Dec	Original Article
84	Shunji Kato, Shiozaki A, Kudou M, et al.	消化器外科	TRPV2 Promotes Cell Migration and Invasion in Gastric Cancer via the Transforming Growth Factor-β Signaling Pathway	Annals of Surgical Oncology. 29(5):2944- 2956, 2022 May	Original Article
85	Hiroyuki Inoue, Shiozaki A, Kosuga T, et al.	消化器外科	Functions and Clinical Significance of CACNA2D1 in Gastric Cancer.	Annals of Surgical Oncology. 2022 Apr オン ライン	Original Article
86	Satoshi Kataoka, Arita T, Konishi H, et al.	消化器外科	The Role of Inflammation-associated microRNA-4257 as a Promoter of Malignancy in Colorectal Cancer	Anticancer Research. 42 (7) :3349-3360, 2022 July	Original Article
87	Kazuya Takabatake, Konishi H, Kubota T, et al.	消化器外科	Postoperative Nutrition Status of Patients With esophago-gastric Junction Cancer With Gastric Tube or esophago-gastric Reconstruction	Anticancer Research. 42(7):3645-3652, 2022 Jul	Original Article
88	Jun Shibamoto, Kubota T, Nishibeppu K,et al.	消化器外科	Clinical Relevance of Proximal Gastrectomy With Double-flap Esophagogastrostomy Reconstruction With Glycemic Profile and Postgastrectomy Syndromes	Anticancer Research. 43(2):857-864, 2023 Feb	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
89	Hiroki Shimizu, Kuriu Y, Arita T, et al.	消化器外科	Simple and reliable method for the application of Seprafilm® during laparoscopic surgery	Asian Journal of Endoscopic Surgery. 15(2): 449-452, 2022 Apr	Original Article
90	Hajime Kamiya, Komatsu S, Nishibeppu K, et al.	消化器外科	Evaluating prognostic value and stage migration effects using a positive lymph node ratio in adenocarcinoma of the esophagogastric junction	BMC Cancer. 23(1):218, 2023 Mar 8	Original Article
91	Yusuke Takashima, Komatsu S, Ohashi T, et al.	消化器外科	Overexpression of Tetraspanin31 contributes to malignant potential and poor outcomes in gastric cancer	Cancer Science. 113(6): 1984-1998, 2022 Jun	Original Article
92	Tomohiro Arita, Kuriu Y, et al.	消化器外科	Laparoscopic anterior resection for patients with rectosigmoid cancer in situs inversus totalis - A Video Vignette	Colorectal Disease. 24(6): 797, 2022 Jun	Original Article
93	Wataru Takaki, Arita T, Kuriu Y, et al.	消化器外科	Impact of the preoperative clinical N stage on the prognosis of patients with colon cancer.	Colorectal Disease. 25(2): 243-252, 2023 Feb	Original Article
94	Hiroyuki Inoue, Kudou M, Shiozaki A, et al.	消化器外科	Value of the Tumor Stroma Ratio and Structural Heterogeneity Measured by a Novel Semi-Automatic Image Analysis Technique for Predicting Survival in Patients with Colon Cancer.	Diseases of the colon and rectum. 2022 Dec オンライン	Original Article
95	Jun Shibamoto, Arita T, Konishi H, et al.	消化器外科	Removal of small extracellular vesicles inhibits the progression of peritoneal dissemination in gastric cancer	Gastric Cancer. 25(4): 712-725, 2022 Jul	Original Article
96	Michihiro Kudou, Yamouchi M, Yamazato Y, et al.	消化器外科	Minimally Invasive Surgery for Colorectal Cancer During the COVID-19 Pandemic in a Tertiary Medical Facility in Japan	In Vivo. 36(6):2806-2812, 2022 Nov-Dec	Original Article
97	Hiroataka Furuke, Konishi H, Arita T, et al.	消化器外科	miR-4730 suppresses the progression of liver cancer by targeting the high mobility group A1 pathway	International Journal of Molecular Sciences. 49(6):83, 2022 Jun	Original Article
98	Shuhei Komatsu, Konishi T, Matsubara D, et al.	消化器外科	Continuous Recurrent Laryngeal Nerve Monitoring During Single-Port Mediastinoscopic Radical esophagectomy for esophageal Cancer.	Journal of Gastrointestinal Surgery. 26(12):2444-2450, 2022 Dec	Original Article
99	Kenji Nanishi, Konishi H, Shiozaki A, et al.	消化器外科	Reduction of perioperative venous thrombus formation by antithrombotic peripherally inserted central catheter in esophageal cancer	Langenbeck's Archives of Surgery. 407(3):1009-1016, 2022 May	Original Article
100	Hiroyuki Inoue, Shiozaki A, Fujiwara H, et al.	消化器外科	Absolute lymphocyte count and C-reactive protein-albumin ratio can predict prognosis and adverse events in patients with recurrent esophageal cancer treated with nivolumab therapy	Oncology Letters. 24(2): 257, 2022 Jun	Original Article
101	Shuhei Komatsu, Konishi T, Matsubara D, et al.	消化器外科	Night home enteral nutrition as a novel enforced and physiologically effective nutrition therapy following total gastrectomy for gastric cancer	Scientific Reports. 12(1): 14922, 2022 Sep	Original Article
102	Jun Shibamoto, Kubota T, Ohashi T, et al.	消化器外科	Glucose variability and predicted cardiovascular risk after gastrectomy	SURGERY TODAY. 52(11) : 1634-1644, 2022 Nov	Original Article
103	Kazuya Takabatake, Arita T, Kuriu Y, et al.	消化器外科	Calcifying fibrous tumor of the ileum resected by single-port laparoscopic surgery: a case report	Surgical Case Reports. 8(1):64, 2022 Apr	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
104	Tomoyuki Fukami, Shiozaki A, Kosuga T, et al.	消化器外科	Anoctamin 5 regulates the cell cycle and affects prognosis in gastric cancer	World journal of gastroenterology.. 28(32): 4649-4667, 2022 Aug 28	Original Article
105	Yu Hohri , Masaaki Yamagishi , Yoshinobu Maeda et al	心臓血管外科	Coronary artery bypass grafting for coronary artery anomalies in infants and young children	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2022 Jul 9;35(2):ivac119. doi: 10.1093/icvts/ivac119.	Case report
106	Yu Hohri , Kan Zen , Hidetake Kawajiri et al	心臓血管外科	Subclavian Artery Access for Transcatheter Aortic Valve Replacement in a Right Aortic Arch	JACC Cardiovasc Interv. 2022 Dec 26;15(24):2573-2574. doi: 10.1016/j.jcin.2022.08.028. Epub 2022 Nov 30.	Case report
107	Satoshi Asada	小児心臓血管外科	Gradual caliber transition of the neo-aortic arch after the Norwood procedure can prevent neo-aortic dilation and right ventricular deterioration	JTCVS Open.2022 Apr 23;10:350-351	Original Article
108	Takashi Nagase	小児心臓血管外科	Surgical repair of a posterior left ventricular aneurysm in a 4-year old boy	Asian Cardiovasc Thorac Ann.2022 Oct;30(8):931-934	Case report
109	Shimomura M	呼吸器外科	Spread through air space is a powerful prognostic predictor in patients with completely resected pathological stage I lung adenocarcinoma.	Lung Cancer. 2022 Dec;174:165-171	Original Article
110	Shimomura M	呼吸器外科	Robotic subxiphoid-optical thymectomy.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2022, Jul 9;35(2):ivac104.	Original Article
111	Morita D, Mazen S, Tsujiko S, Otake Y, Sato Y, Numajiri T.	形成外科	Deep-learning-based automatic facial bone segmentation using a two-dimensional U-Net.	Int J Oral Maxillofac Surg. 2022 Jul.	Original Article
112	Kawarazaki A, Inafuku N, Numajiri T.	形成外科	Sterile Abscess with Mediastinal Cutaneous Fistula After Total Aortic Replacement.	Int J Surg Wound Care 2022 Dec.	Case report
113	Kotani S, Takahashi Y, Morisako T, et al.	脳神経外科	Bacterial meningitis caused by nontraumatic cerebrospinal fluid rhinorrhea with aqueductal stenosis: A case report	Surg Neurol Int. 2022 Sep 23;13:439	Case report
114	Takeuchi H, Takahashi Y, Tanigawa S, et al.	脳神経外科	Genetic Alteration May Proceed with a Histological Change in Glioblastoma: A Report from Initially Diagnosed as Nontumor Lesion Cases	NMC Case Rep J. 2022 Jul 8;9:199-208	Case report
115	Okamoto T, Inoue Y, Oi Y., et al.	脳神経外科	Strategy of carotid artery stenting as first-line treatment and carotid endarterectomy for carotid artery stenosis: A single-center experience	Surg Neurol Int . 2022 Nov 4;13:513	Original Article
116	Inoue Hiroaki, Arai Y, Nakagawa S et al.	整形外科	Analysis of hemodynamic changes after medial patellofemoral ligament reconstruction	Sports Med Int Open 2022 Apr; 6(1): E25-31.	Original Article
117	Kobayashi Yusuke, Kida Y, Takatsuji K, et al.	整形外科	Effect of quantitative partial valgus stress during baseball pitching on ball velocity and subjective pitch-effort	J Shoulder Elbow Surg 2023 Jan;32(1):168-173	Original Article
118	Minami Masataka, Ikoma K, Onishi O, et al.	整形外科	Histological assessment of cortical bone changes in diabetic rats	J Orthop Surg Res 2022 Dec; 17(1):568	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
119	Morito Takaki, Kida Y, Takatsuji K, et al.	整形外科	Hegemann's disease detected with a traumatic olecranon fracture: A case report	JBJS Case Connect 2022Apr; 12(2):1-4	Case report
120	Okubo Naoki, Yoshida T, Asano M, et al.	整形外科	Bilateral incomplete atypical femur fractures with severe bowing treated using elastic intramedullary nails: A case report.	JBJS case connect 2022 Jun; 12(29):e22	Case report
121	Okubo Naoki, Yoshida T, Ohara M, et al.	整形外科	Atypical ulnar fracture in an older woman with osteoporosis with a five-year history of denosumab treatment: A case report	J Hand Surg Asian Pac Vol. 2022 Oct ;27(5): 928-932	Case report
122	Okubo Naoki, Yoshida T, Tanaka K, et al.	整形外科	Serum creatinine to cystatin C ratio reflects preoperative and early postoperative walking ability in older patients with hip fracture	J Cachexia Sarcopenia Muscle. 2022 Apr; 13(2):945-954.	Original Article
123	Shimomura Seiji, Inoue H, Arai Y, et al.	整形外科	Hypoxia promotes differentiation of pure cartilage from human induced pluripotent stem cells	Mol Med Rep. 2022 Jul; 26(1):229.	Original Article
124	Tanaka Kazuya, Yoshida T, Hosoi K, et al.	整形外科	Investigation of the risk of common femoral artery injury with anterior subcutaneous internal fixation in patients with fragility fractures of the pelvis	Injury. 2022 Nov; 53(11):3781-3785.	Original Article
125	Tarumi Yosuke, Mori T, Shimura K, et al.	産婦人科	Progesterone receptor status of epithelial cells as a predictive marker for postoperative recurrence of endometriosis.	Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism. 2022 May 17;107(6):1552-1559.	Original Article
126	Yoriki Kori, Mori T, Aoyama K, et al.	産婦人科	Genistein induces long-term expression of progesterone receptor regardless of estrogen receptor status and improves the prognosis of endometrial cancer patients.	Scientific Reports. 2022 Jun 18;12(1):10303.	Original Article
127	Kakibuchi Akiyo, Ito F, Kokabu T, et al.	産婦人科	Robot-assisted laparoscopic hysterectomy for early-stage endometrial cancer with massive uterine leiomyomas: A case report	International Journal of Surgery Case Reports. 2022 Aug;97:107473.	Case report
128	Kokabu Tetsuya, Aoyama K, Tarunmi Y, et al.	産婦人科	Successful nedaplatin desensitization therapy in a patient with platinum-sensitive recurrent ovarian cancer: A case report and literature review.	Gynecologic Oncology Reports. 2022 Sep 6;43:101065.	Case report
129	Tani Akihiro, Tarumi Y, Kakibuchi A, et al.	産婦人科	Giant retroperitoneal dedifferentiated liposarcoma mimicking ovarian cancer: A case report	Gynecologic Oncology Reports. 2022 Oct 18;44:101088.	Case report
130	Okimura Hiroyuki, Tanaka Y, Fujii M, et al.	産婦人科	Changes in the proportion of regulatory T cell subpopulations during menstrual cycle and early pregnancy.	American Journal of Reproductive Immunology. 2022 Dec;88(6):e13636.	Original Article
131	Fujii Maya, Tanaka Y, Okimura H, et al.	産婦人科	Decrease in activated regulatory T cell populations in the endometrium during ovulation in endometriosis	Journal of Reproductive Immunology. 2023 Mar 146: 103825.	Original Article
132	Oya S, Osone S, Yoshida M, et al.	小児科	Identification of RCC1-LCK as a novel fusion gene in pediatric erythroid sarcoma.	Pediatr Blood Cancer2022 Sep;69(9):e29848	Original Article
133	Mayumi A, Tomii T, Kanayama T, et al.	小児科	The combination of ruxolitinib and Bcl-2/Mcl-1 inhibitors has a synergistic effect on leukemic cells carrying a SPAG9::JAK2 fusion	Cancer Gene Ther2022 Dec;9(12): 1930-1938	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
134	Ota T, Mori J, Kawabe Y, et al.	小児科	Association of Type 2 Deiodinase Thr92Ala Polymorphism with Pediatric Obesity in Japanese Children: A Case-Control Study.	Children (Basal) 2022 Sep 20;9(10):1421	Original Article
135	Endo Y, Kawai Y, Yamagishi M.	小児科	Histological finding of maternal antibody-associated congenital heart block accompanied by large atrial septal defect and severe cardiac dysfunction	Cardiol in Young 2022Dec;32(12):2032-2035	Case report
136	Katsumi Y, Iehara T, Kuwahara Y, et al.	小児科	Diverse outcomes in extra-cranial rhabdoid tumors: A single institute experience	Pediatr Hematol Oncol 2022 Apr;39(3):278-285	Case report
137	Mori J, Hasegawa T, Miyamoto Y, et al.	小児科	Thyroid hypogenesis is associated with a novel AKT3 germline variant that causes megalencephaly and cortical malformation	Hum Genome Var 2022 Jun;9 (1): 18	Case report
138	Sengoku Yuki, Higashi M, Nagayabu K, et al	小児外科	IL13 and periostin in active fibrogenic areas of the extrahepatic bile ducts in biliary atresia patients	Pediatric Surgery International, 38: 1847-1853, 2022 Dec.	Original Article
139	Kambe Kosuke, Iguchi M, Higashi M, et al	小児外科	Development of minimally invasive cancer immunotherapy using anti-disialoganglioside GD2 antibody-producing mesenchymal stem cells for neuroblastoma mouse model	Pediatric Surgery International, 39: 43, 2022 Dec.	Original Article
140	Kitazawa K, Toda M, Ueno M, et al.	眼科	The biological character of donor corneal endothelial cells influences endothelial cell density post successful corneal transplantation.	Ophthalmol Sci. 3(2):100239, 2022. Oct	Original Article
141	Nakai H, Tsuchiya Y, Koike N, et al.	眼科	Comprehensive Analysis Identified the Circadian Clock and Global Circadian Gene Expression in Human Corneal Endothelial Cells.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 63(5):16, 2022. May	Original Article
142	Kitazawa K, Sotozono C, Kinoshita S.	眼科	Current Advancements in Corneal Cell-Based Therapy.	Asia Pac J Ophthalmol (Phila). 11(4):335-345, 2022. Aug	Review
143	Kato H, Yokoi N, Watanabe A, et al.	眼科	Clinical Factors for Determining the Severity of Lid Wiper Epitheliopathy in Dry Eye.	Cornea. 41(5):545-551, 2022. May	Original Article
144	Ueno M, Toda M, Numa K, et al.	眼科	Superiority of Mature Differentiated Cultured Human Corneal Endothelial Cell Injection Therapy for Corneal Endothelial Failure.	Am J Ophthalmol. 237:266-277, 2022. May	Original Article
145	Katoh Norito, Saeki Hidehisa, Kataoka Yoko, et al.	皮膚科	Evaluation of standard treatments for managing adult Japanese patients with inadequately controlled moderate-to-severe atopic dermatitis: Two-year data from the ADDRESS-J disease registry	Journal of Dermatology 49(9);903-911, 2022 Sep	Original Article
146	Katoh Norito, Ohya Yukihiro, Murota Hiroyuki, et al.	皮膚科	Safety and Efficacy of Upadacitinib for Atopic Dermatitis in Japan: 2-Year Interim Results from the Phase 3 Rising Up Study.	Dermatology and Therapy 13(1);221-234, 2023 Jan	Original Article
147	Katoh Norito, Takita Yasushi, Isaka Yoshitaka, et al.	皮膚科	Pooled Safety Analysis of Baricitinib in Adult Participants with Atopic Dermatitis in the Japanese Subpopulation from Six Randomized Clinical Trials.	Dermatology and Therapy 12(12);2765-2779, 2022 Dec	Original Article
148	Masuda Koji, Amy M Delozier, Jill Kolodsick, et al.	皮膚科	Improvements in itch and sleep following treatment with baricitinib in combination with topical corticosteroids are associated with better quality of life and productivity in adult patients with moderate-to-severe atopic dermatitis: a post hoc analysis from BREEZE-AD7.	European Journal of Dermatology 32(2);237-243, 2022 Apr	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
149	Maruyama Ayano, Tamagawa-Mineoka R, Nishigaki H, et al.	皮膚科	Exploratory analyses of biomarkers in blood and stratum corneum in patients with atopic dermatitis.	Medicine (Baltimore) 101(42);e31267, 2022 Oct	Original Article
150	Maruyama Ayano, Katoh Norito	皮膚科	Subacute cutaneous lupus erythematosus successfully treated with topical delgocitinib.	Journal of Dermatology 50(3);e110-e111, 2023 Mar	Letter
151	Takashi Ueda	泌尿器科	Bone marrow metastasis in a patient with non-seminomatous testicular germ cell tumor	IJU Case Reports.2022 Apr; 10;5(4): 247-250	Case report
152	Munehiro Ohashi	泌尿器科	Detection of relatively poor but definitive blood supply in prostate stromal sarcoma using transrectal ultrasonography with superb microvascular imaging	International Cancer Conference Journal.2022 May;11(3):215-218	Original Article
153	Masatomo Kaneko	泌尿器科	Artificial intelligence trained with integration of multiparametric MR-US imaging data and fusion biopsy trajectory-proven pathology data for 3D prediction of prostate cancer: A proof-of-concept study	prostate.2022 May;82(7): 793-803	Original Article
154	Toru Matsugasumi	泌尿器科	Intraoperative ultrasound monitoring with superb microvascular imaging in focal cryotherapy for prostate cancer	Journal of Medical Ultrasonics(2001).2022 Jul;49(3): 497-498	Original Article
155	Teruki Shimizu	泌尿器科	Editorial Comment to Genomic landscape of treatment-naïve urological cancers using next-generation sequencing-based panel test in the Japanese population	International Journal of Urology.2022 Aug;29(8): 911-912	Original Article
156	Masatomo Kaneko	泌尿器科	Urine cell image recognition using a deep-learning model for an automated slide evaluation system	BJU International.2022 Aug;130(2):235-243	Original Article
157	Tsukasa Narukawa	泌尿器科	New modified technique of hydrogel spacer implantation for prostate cancer: a novel method for separation at the prostate apex level under real-time ultrasound guidance	Journal of Medical Ultrasonics(2001).2022 Jul;49(4): 751-752	Original Article
158	Fumiya Hongou	泌尿器科	Phase I/II study of multi-peptide cancer vaccine IMA901 after single-dose cyclophosphamide in Japanese patients with advanced renal cell cancer with long-term follow-up.	International Journal of Urology.2022 Oct;30(2): 176-180	Original Article
159	Atsuko Fujiwara	泌尿器科	Focal therapy of localized prostate cancer	International Journal of Urology.2022 Nov;29(11): 1254-1263	Original Article
160	Takashi Ueda	泌尿器科	Microwave focal therapy of prostate cancer: a non-clinical study and exploratory clinical trial	World Journal of Urology .2022 Dec; 40(12):2939-2946	Original Article
161	Yoshio Naya	泌尿器科	Preliminary study of the safety of acrinol in probe-based confocal laser endomicroscopy during transurethral resection of bladder tumors	Asian Journal of Endoscopic Surgery.2023 Jan;16(1): 143-146	Original Article
162	Tsukasa Narukawa	泌尿器科	Role of hydrogel spacer to protect the rectum from thermal injury in focal therapy of prostate cancer: Preclinical study in cadaver model	International Journal of Urology.2023 Jan;30(1): 116-118	Original Article
163	Yasuyuki Naitoh	泌尿器科	Novel surgical technique for orchiopexy of intra-abdominal testis	International Journal of Urology.2023 Jan;30(1): 118-120	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
164	Fumiya Hongou	泌尿器科	Phase I/II study of multipetide cancer vaccine IMA901 after single-dose cyclophosphamide in Japanese patients with advanced renal cell cancer with long-term follow up	International Journal of Urology.2023 Feb;30(2): 176-180	Original Article
165	Yasuyuki Naitoh	泌尿器科	Future expectations for prediction of congenital malformations by classification and regression tree analysis by ultrasonography	Journal of Clinical Ultrasound.2023 Mar;51(3):445-446	Original Article
166	Bedeir MM, Ninoyu Y, Nakamura T, et al.	耳鼻咽喉科	Multiplex immunohistochemistry reveals cochlear macrophage heterogeneity and local auditory nerve inflammation in cisplatin-induced hearing loss.	Front Neurol. 2022 Oct 20;13:1015014. doi: 10.3389/fneur.2022.1015014.(オンライン)	Original Article
167	Saburi S, Tsujikawa T, Miyagawa-Hayashino A, et al.	耳鼻咽喉科	Spatially resolved immune microenvironmental profiling for follicular thyroid carcinoma with minimal capsular invasion.	Mod Pathol. 2022 Jun;35(6):721-727.	Original Article
168	Ogawa M, Mukudai S, Sugiyama Y, et al.	耳鼻咽喉科	The Effects of amniotic membrane transplantation on vocal fold regeneration.	Laryngoscope. 2022 Oct;132(10):2017-2025.	Original Article
169	Yamamoto R, Sugiyama Y, Hashimoto K, et al.	耳鼻咽喉科	Firing characteristics of swallowing interneurons in the dorsal medulla during physiologically induced swallowing in perfused brainstem preparation in rats.	Neurosci Res. 2022 Apr;177:64-77.	Original Article
170	Kaneko M, Sugiyama Y, Mukudai S, et al.	耳鼻咽喉科	Effects of voice therapy for dysphonia due to tension imbalance in unilateral vocal fold paralysis and paresis.	J Voice. 2022 Jul;36(4):584.e1-584.e6. doi: 10.1016/j.jvoice.2020.07.026.(オンライン)	Original Article
171	Ayani Nobutaka, Oya N, Kitaoka R, et al.	精神科・心療内科	Epidemiology of Adverse Drug Events and Medication Errors in Four Nursing Homes in Japan: The Japan Adverse Drug Events (JADE) Study	BMJ Qual Saf. 2022 Apr 21;31(12):878-887.	Original Article
172	Sun Waiyi, Ueno D, Narumoto J	精神科・心療内科	Brain Neural Underpinnings of Interoception and Decision-Making in Alzheimer's Disease: A Narrative Review	Frontiers in Neuroscience. 2022 Jul (オンライン).	Review
173	Ueno Daisuke, Arakawa M, Fujii Y, et al.	精神科・心療内科	Psychosocial characteristics of victims of special fraud among Japanese older adults: A cross-sectional study using the scam vulnerability scale	Frontiers in Psychology. 2022 Jul (オンライン).	Original Article
174	Sakai Yuki, Sakai Y, Yoshinari A, et al.	精神科・心療内科	Memory trace imbalance in reinforcement and punishment systems can reinforce implicit choices leading to obsessive-compulsive behavior	Cell Reports. 2022 Aug;40(9):111275-111275.	Original Article
175	Matsuoka Teruyuki, Imai A, Narumoto J.	精神科・心療内科	Pineal volume reduction as the neural correlate of very late-onset schizophrenia-like psychosis.	Asian J Psychiatr. 2022 Nov;77:103251.	Original Article
176	Imai A., Matsuoka T, Kato Y, et al.	精神科・心療内科	Older people with severe loneliness have an atrophied thalamus, hippocampus, and entorhinal cortex.	Int J Geriatr Psychiatry. 2022 Nov 12;37(12).	Original Article
177	Ueno D, Ohira H, Narumoto J	精神科・心療内科	Editorial: Interoception and the Autonomic Nervous System: Investigating Affect, Decision-Making, and Mental Health	Frontiers in Neuroscience. 2023 Jan (オンライン).	Others
178	Yamazaki Hideya, Suzuki G, Aibe N	放射線科	In Regard to Musunuru et al	INTERNATIONAL JOURNAL OF RADIATION ONCOLOGY BIOLOGY PHYSICS. 2022 May; 113(1):229-230	Letter

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
179	Goto Mariko,Denis L,Sakai K	放射線科	The diffusion MRI Signature Index is highly correlated with immunohistochemical status and molecular subtype of invasive breast carcinoma	EUROPEAN RADIOLOGY. 2022 Jul; 32(7):4879-4888	Original Article
180	Yamazaki Hideya, Suzuki G, Masui K	放射線科	Role of Brachytherapy Boost in Clinically Localized Intermediate and High-Risk Prostate Cancer: Lack of Benefit in Patients with Very High-Risk Factors T3b-4 and/or Gleason 9-10	Cancers . 2022 Jun; 14(12):2976	Original Article
181	Yamazaki Hideya, Kimoto T,Suzuki G	放射線科	Particle Beam Therapy for Intrahepatic and Extrahepatic Biliary Duct Carcinoma: A Multi-Institutional Retrospective Data Analysis	Cancers . 2022 Nov ; 14(23):5864	Original Article
182	Akiyama Shimpei,Noza ki T,Tasaki A	放射線科	Longitudinal MR quantification of the fat fraction within the supraspinatus and infraspinatus muscles in patients with shoulder pain.	ACADEMIC RADIOLOGY. 2022 Nov; 29(12):1700-1708	Original Article
183	Kajikawa Tomohiro,Ka doya N,Maehara Y	放射線科	A deep learning method for translating 3D-CT to SPECT ventilation imaging: First comparison with 81m Kr-gas SPECT ventilation imaging.	MEDICAL PHYSICS. 2022 Jul;49(7):4353-4364	Original Article
184	Suzuki Gen,Yamazak i H,Aibe N	放射線科	Chemoradiation versus surgery for superficial esophageal squamous cell carcinoma after noncurative endoscopic submucosal dissection: comparison of long-term oncologic outcomes	Radiation Oncology. 2022 Nov;17(1):191	Original Article
185	Ota Yoshiaki,Moo re A,Spector M	放射線科	Prediction of wound failure in head and neck cancer patients treated with free flap reconstruction: Utility of CT perfusion and MR perfusion in the early post-operative period	AMERICAN JOURNAL OF NEURORADIOLOGY. 2022 Apr;43(4):585-591	Original Article
186	Ota Yoshiaki,Liao E,Capizzano A	放射線科	Differentiation of Skull Base Chondrosarcomas, Chordomas, and Metastases: Utility of Diffusion-Weighted and Dynamic Contrast-Enhanced Perfusion MR Imaging	AMERICAN JOURNAL OF NEURORADIOLOGY. 2022 Sep;43(9):1325-1332	Original Article
187	Tamari Yuuki, Takata T, Takeno S	放射線科	Influence of Boron Neutron Capture Therapy on Normal Liver Tissue	RADIATION RESEARCH. 2022 Oct; 198(4):368-374	Original Article
188	Hayashi Natsuko,Take uchi Y,Morishita H	放射線科	CT-Guided Femoral Approach for Psoas Muscle Abscess Drainage	CARDIOVASCULAR AND INTERVENTIONAL RADIOLOGY. 2022 Apr; 45(4):522-526	Original Article
189	Sakai Koji,Akazawa K,Tazoe J	放射線科	Does cerebrospinal fluid pulsation affect DWI thermometry? A study in healthy volunteers	NMR IN BIOMEDICINE. 2022 Aug;35(8):e4738	Original Article
190	Ota Yoshiaki,Liao E,Capizzano A	放射線科	Neurofibromatosis type 2 versus sporadic vestibular schwannoma: The utility of MR diffusion and dynamic contrast-enhanced imaging	JOURNAL OF NEUROIMAGING. 2022 May;32(3):554-560	Original Article
191	Ota Yoshiaki,Liao E,Capizzano A	放射線科	Intracranial paragangliomas versus schwannomas: Role of dynamic susceptibility contrast perfusion and diffusion MRI	JOURNAL OF NEUROIMAGING. 2022 Sep;32(5):875-883	Original Article
192	Ota Yoshiaki,Liao E,Zhao R	放射線科	Advanced MRI to differentiate schwannomas and metastases in the cerebellopontine angle/internal auditory canal	JOURNAL OF NEUROIMAGING. 2022 Nov;32(6):1177-1184	Original Article
193	Nishimoto Masakazu,Ha yakawa K,Tanda K	放射線科	Verification of the ability of the new MRI classification system to predict neurodevelopmental outcome in very low-birth-weight infants	BRAIN & DEVELOPMENT. 2022 Oct;44(9):605-611	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
194	Watanabe Shou, Yamazaki H, Kimoto T	放射線科	Repeated Stereotactic Body Radiotherapy for Lung Malignancies: Toxicity Can Be Reduced by Sparing Lung Irradiation.	ANTICANCER RESEARCH. 2022 May; 42(5):2701-2709	Original Article
195	Yamazaki Hideya, Masui K, Suzuki G	放射線科	Reirradiation for recurrent head and neck carcinoma using high-dose-rate brachytherapy: A multi-institutional study	Brachytherapy. 2022 May; 21(3):341-346	Original Article
196	Suzuki Gen, Yamazaki H, Aibe N	放射線科	Elective nodal irradiation versus involved field radiotherapy for limited disease small cell lung cancer: a single-institution experience.	Nagoya Journal of Medical Science. 2022 May; 84(2): 327-338	Original Article
197	Yamazaki Hideya, Suzuki G, Aibe N	放射線科	Reirradiation for local recurrence of oral, pharyngeal, and laryngeal cancers: a multi-institutional study	Scientific Reports. 2023 Feb 21; 13(1):3062	Original Article
198	Tokuda Bunta, Yamada K, Takahata A	放射線科	Time-course changes in multiparametric magnetic resonance imaging following focal cryotherapy for localized prostate cancer: Initial experience	European Journal of Radiology. 2023 Mar; 160: 110714.	Original Article
199	Sawa Teiji, Yamada T, Obata Y	麻酔科	Power spectrum and spectrogram of EEG analysis during general anesthesia: Python-based computer programming analysis.	J Clin Monit Comput. 2022 Jun; 36(3):609-621	Review
200	Yamochi Shoko, Kinoshita M, Sawa T	麻酔科	Anesthetic management of a severely obese patient (body mass index 70.1 kg/m ²) undergoing giant ovarian tumor resection: a case report.	Journal of medical case reports. 2022 Apr; 16(1) 164-164	Case report
201	Norikazu Hishikawa	リハビリテーション科	Effect of Foot Orthosis Treatment on Quality of Life in Secondary Sarcopenia Patients with Rheumatoid Arthritis-Related Foot Impairment	Prog Rehabil Med . 2022 Sep	Original Article
202	Watanabe M, Matsuyama T, Miyamoto Y, et al.	救急医療科	The impact of different targeted temperatures on out-of-hospital cardiac arrest outcomes in patients receiving extracorporeal membrane oxygenation: a nationwide cohort study.	Crit Care. 2022 Dec 8; 26(1):380.	Original Article
203	Matsuyama T, Kiyohara K, Kitamura T, et al.	救急医療科	Public-access defibrillation and favorable neurological outcome after out-of-hospital cardiac arrest during the COVID-19 pandemic in Japan.	Crit Care. 2022 Oct 31; 26(1):335.	Original Article
204	Oe H, Watanabe M, Sasaki M, et al.	救急医療科	Varicella-zoster virus meningitis coincident with bacteremia caused by liver abscess: a case report.	J Neurovirol. 2022 Dec; 28(4-6):606-608.	Case report
205	Matsuyama T, Ohta B, Kiyohara K, et al.	救急医療科	Cardiopulmonary resuscitation duration and favorable neurological outcome after out-of-hospital cardiac arrest: a nationwide multicenter observational study in Japan (the JAAM-OHCA registry).	Crit Care. 2022 May 2; 26(1):120.	Original Article
206	Matsuyama T, Yasutake Y, Inaba D, et al.	救急医療科	Novel Mode of Near-Infrared Spectroscopy as a Continuous Cerebral Physiological Monitoring Device during Cardiopulmonary Resuscitation: Four Case Reports.	J Clin Med. 2022 Apr 4; 11(7):2018.	Case report
207	Matsuyama T, Komukai S, Izawa J, et al.	救急医療科	Epinephrine administration for adult out-of-hospital cardiac arrest patients with refractory shockable rhythm: time-dependent propensity score-sequential matching analysis from a nationwide population-based registry. Eur Heart J Cardiovasc Pharmacother	2022 May 5; 8(3):263-271.	Original Article
208	Okumura H, Takebe K.	救急医療科	Male with sore throat and dyspnea.	J Am Coll Emerg Physicians Open. 2022 Apr; 3(2): e12686.	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
209	Nagamine Michiko, Ichii R, Taira T, et al.	病理診断科	Cellular debris on negative liquid-based cytology cervicovaginal smears.	Cytopathology. 2022 Nov; 33(6):725-731	Original Article
210	Takeda-Miyata Naoko, Miyagawa-Hayashino A, Hamada S, et al.	病理診断科	A clinicopathologic and molecular analysis of five cases of bronchiolar adenoma with rare mutations.	Pathol International. 2022 May; 72(5):273-282	Original Article
211	Tanaka Noriyuki, Ishihara S, Inoue M, et al.	病理診断科	Thymic Hyperplasia With Lymphoepithelial Sialadenitis-Like Features Arising in a Patient With Immunoglobulin G4-Related Disorders: A Case Report.	International Journal of Surgical Pathology. 2023 Jan; (オンライン)	Case report
212	Inaba Toru, Okumura K, Maekura C, et al.	臨床検査部	Patients with B-cell lymphoma receiving anti-CD20 monoclonal antibody-containing chemotherapies and seroreactive patterns in response to COVID-19 vaccination	International Journal of Hematology 115, 913-914, 2022 Apr	Letter
213	Adachi T, Miyamoto N, Imamura H, et al.	歯科	Three-dimensional culture of cartilage tissue on nanogel-cross-linked porous freeze-dried gel scaffold for regenerative cartilage therapy: A vibrational spectroscopy evaluation.	Int J Mol Sci, 2022 July, 23(15): 8099.	Original Article
214	Hironaka Yamano, Kenta Yamamoto, Saki Kishimoto, et al.	歯科	Anti-Inflammatory Effects of β -Cryptoxanthin on 5-Fluorouracil-Induced Cytokine Expression in Human Oral Mucosal Keratinocytes.	Molecules, 2023 March , 28, 2935.	Original Article

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

小計 6

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含まれるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

計 214

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					
2					

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

計 0

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 学長の業務、研究者等の責務等、研究責任者の業務、他機関への既存資料・情報等の提供、審査委員会の事務・審査記録の保存、研究により得られた結果等の取扱い、研究の信頼性確保、重篤な有害事象への対応、講習の受講、データベースの登録	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 11 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 「京都府公立大学法人の利益相反の管理に関する規程」…利益相反の管理や判断基準等を規定 「京都府立医科大学利益相反委員会規程」…設置目的や組織編成等について規定 「京都府立医科大学臨床研究等に係る利益相反の管理に関する取扱規程」…臨床研究等における利益相反の管理について規定	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 13 回
・ 研修の主な内容 「研究倫理の原則～歴史を振り返りつつ～」 「臨床研究・試験のあるべき姿を不正事案から考える」 「医療AIの研究開発・実践に伴う倫理的・法的・社会的課題」 「臨床的意義とTPP (Target Product Profile) を意識した 臨床試験のプロトコル作成」 「京都府立医科大における臨床研究法に定める臨床研究の実施と臨床研究法施行5年後の見直しへの対応」 「生物統計学の理論と実践」 「医療現場からみた知的財産構築の意義 知的財産の活用、産学公における契約と知的財産戦略	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科において、専門医・認定医取得のための高度な医療知識・スキルを習得させる。
(プログラムは各科ごとに作成)

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 241人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
三宅 隼人	消化器内科	助教	13年	
中村 猛	循環器内科	准教授	28年	
桐田 雄平	腎臓内科	助教	15年	
森本 健司	呼吸器内科	助教	11年	
岡田 博史	内分泌・糖尿病・代謝内科	助教	19年	
水谷 信介	血液内科	学内講師	17年	
和田 誠	膠原病・リウマチ・アレルギー科	助教	25年	
田中 瑛次郎	脳神経内科	助教	17年	
松原 慎	総合診療科	助教	11年	
塩崎 敦	消化器外科	講師	26年	
沼田 智	心臓血管外科	准教授	28年	
前田 吉宣	小児心臓血管外科	助教	23年	
下村 雅律	呼吸器外科	准教授	21年	
森田 翠	内分泌・乳腺外科	学内講師	15年	
昇 修治	移植・一般外科	講師	25年	
金 聖和	小児外科	助教	14年	
河原崎 彩子	形成外科	講師	21年	
丸山 大輔	脳神経外科	助教	21年	
白井 寿治	整形外科	准教授	27年	
藁谷 深洋子	産婦人科	准教授	21年	
吉田 秀樹	小児科	助教	19年	
鎌田 さや花	眼科	助教	18年	
浅井 純	皮膚科	講師	22年	
内藤 泰行	泌尿器科	講師	30年	
辻川 敬裕	耳鼻咽喉科	学内講師	19年	
中嶋 義幸	精神科・心療内科	助教	12年	
高畑 暁子	放射線科	助教	22年	
飯田 淳	麻酔科	学内講師	17年	
小川 覚	疼痛・緩和ケア科	講師	17年	
沢田 光思郎	リハビリテーション科	准教授	20年	
山本 俊郎	歯科	講師	27年	
森永 友紀子	病理診断科	助教	16年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

4 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況 (任意)	
R4. 2-4	PICU_人工呼吸器研修 2 人 (臨床工学部)
R4. 4. 14	臨床栄養スキルアップ勉強会「糖尿病患者さんの“リアルタイム継続栄養指導”を担当して思うこと」8名 (栄養課)
R4. 4. 15-23	PICU_人工呼吸器 SERV0 研修 26 人 (臨床工学部)
R4. 4. 25	臨床栄養スキルアップ勉強会「頭痛について (頭痛の栄養指導)」13名 (栄養課)
R4. 5. 12	臨床栄養スキルアップ勉強会「高齢者の嚥下機能を維持するためにベッドから離れて過ごす時間」11名 (栄養課)
R4. 5. 12	緊急時対応訓練 (アナフィラキシーショックへの対応) 18名 (放射線技術課)
R4. 6. 9	臨床栄養スキルアップ勉強会「日本臨床栄代謝学会に参加して」14名 (栄養課)
R4. 6. 14	ICU/C2 病棟_人工呼吸器研修 9 人 (臨床工学部)
R4. 6. 24	ICU_ペースメーカー研修 8 人 (臨床工学部)
R4. 6. 29	CE_NAVA 研修 5 人 (臨床工学部)
R4. 7. 14	CE_腹水濃縮濾過用装置研修 7 人 (臨床工学部)
R4. 7. 14	臨床栄養スキルアップ勉強会「経腸栄養製品のネクタ規格変更について」14名 (栄養課)
R4. 7. 20	診療用粒子線照射装置研修 12 人 (臨床工学部)
R4. 7. 26	D3 病棟 NPPV 研修 1 人 (臨床工学部)
R4. 7. 26	ICU_人工呼吸器研修 7 人 (臨床工学部)
R4. 8. 21	放射線技師対象 告示研修プログラム 40 人 (看護部)
R4. 9. 28	ICU_IABP 勉強会 12 人 (臨床工学部)
R4. 10. 13	ICU_血液浄化研修 9 人 (臨床工学部)
R4. 10. 13	臨床栄養スキルアップ勉強会「国公立大学病院 医療技術関係職員研修より」13名 (栄養課)
R4. 10. 18	診療用放射線照射装置研修 21 人 (臨床工学部)
R4. 10. 19	診療用高エネルギー放射線発生装置研修 5 人 (臨床工学部)
R4. 11. 1-	ER_除細動器研修 28 人 (臨床工学部)
R4. 11. 10	臨床栄養スキルアップ勉強会「R4 年京都市特定給食施設等講習会より」14 名 (栄養課)
R4. 11. 12-13	放射線技師対象 告示研修プログラム 40 人 (看護部)
R4. 11. 15	看護部_人工呼吸器研修 41 人 (臨床工学部)
R4. 11. 22	看護部_人工呼吸器研修 46 人 (臨床工学部)
R4. 12. 8	臨床栄養スキルアップ勉強会「輸液・早期経腸栄養について」7名 (栄養課)
R4. 12. 23	臨床栄養スキルアップ勉強会「血液内科の移植、化学療法を受けられる患者さんの食事の注意点」13名 (栄養課)
R5. 1. 12	臨床栄養スキルアップ勉強会「ガイドライン・コンセンサスステートメントを読む」15名 (栄養課)

R5. 2. 9	臨床栄養スキルアップ勉強会「マインドフルネス」15名（栄養課）	
R5. 3. 9	臨床栄養スキルアップ勉強会「服薬ゼリーについて」14名（栄養課）	
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）		
R4. 7. 20	診療用粒子線照射装置の安全使用に関する研修	17名（放射線技術課）
R4. 10. 18	診療用放射線照射装置の安全使用に関する研修	11名（放射線技術課）
R4. 10. 19	診療用高エネルギー放射線発生装置の安全使用に関する研修	15名（放射線技術課）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況		
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数 		

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 佐和 貞治
管理担当者氏名	副局長 (附属病院担当) 松本 浩成

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	診療情報管理室 病棟 調剤室 病院管理課	・カルテは電子カルテと紙カルテの2種類を管理及び保管。平成20年1月から電子カルテシステムを導入しており、それ以前の紙カルテ(手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の経過記録の要約等)は、診療情報管理室に保管。 ・処方箋は調剤室。 ※診療録を病院外に持ち出すことは「診療記録貸出・返却要領」で禁止している。
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	・電子データ及び帳票類を各箇所管理している。 ※院外への持ち出しは基本的に不可としている。
		高度の医療の提供の実績	経理課 医療サービス課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課 情報・研究支援課	
		高度の医療の研修の実績	病院管理課	
		閲覧実績	病院管理課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	経理課	
	掲げる事項の十一第一項に	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経理課	・電子データ及び帳票類を各箇所管理している。 ※院外への持ち出しは基本的に不可としている。
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進部	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策部	<p>・電子データ及び帳票類を各箇所管理している。</p> <p>※院外への持ち出しは基本的に不可としている。</p>
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部 医療安全推進部			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全推進部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全推進部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全推進部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全推進部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全推進部
		監査委員会の設置状況	医療安全推進部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全推進部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全推進部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	法人本部総務室
		職員研修の実施状況	総務課 医療安全推進部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全推進部
管理者が有する権限に関する状況	経理課 病院管理課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	法人本部総務室		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	法人本部総務室		

・電子データ及び帳票類を各箇所管理している。
※院外への持ち出しは基本的に不可としている。

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input type="radio"/> 2. 現状 <input checked="" type="radio"/>
閲覧責任者氏名	病院管理課長 山口健司
閲覧担当者氏名	病院管理課 課長補佐兼総務調整係長 今西亮仁
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課総務調整係
閲覧の手続の概要	
閲覧請求者の住所、氏名、請求記録名、閲覧理由を聴取した上で、請求のあった記録を所管する部署から該当資料を取り寄せ、病院管理課内で閲覧に供する。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故を防止し、安全かつ適切な医療を提供する体制 ・ 安全管理のための基本的な考え方 ・ 安全管理のための組織 ・ 医療事故発生時の対応 ・ 医療事故及びインシデント報告制度 ・ 職員の教育・研修及び啓発 ・ 患者相談窓口 ・ 患者本位の医療の提供 ・ 診療行為に内在する危険防止のために必要な情報を患者に提供 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（有・無） ・ 開催状況：年 2回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理のための指針の策定及び変更 ・ 院内で発生した医療事故、インシデントの調査分析、再発防止策の立案・実施 ・ 安全管理のための教育・研修及び啓発の検討 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床倫理問題相談委員会について ・ 特定機能病院に求められる医療安全と当院での取り組み ・ 診療記録記載指針研修会 病院機能評価の振り返りとより良い ・ 医薬品安全管理セミナー 薬の誤投与を防ぐ～薬剤の誤投与に係る死亡事例の分析を中心に～ ・ 苦情・クレーム研修 ～接遇から振り返ろう～患者をクレーマーにさせないために！ 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ オカレンス報告の実施 ・ 職員間での情報共有と注意喚起のためのインシデント事例等を掲載した「医療安全推進部ファイル」の作成 供覧 ・ 医療安全レターによる情報提供と注意喚起 ・ 急変対応ワーキングチームによるシステムの見直し、院内蘇生講習 ・ 医療安全のための院内ラウンドの実施 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方 ・ 院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本事項 ・ 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 ・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針 ・ 患者への情報提供と説明に関する基本方針 ・ 病院における院内感染対策の推進における基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： ・ 感染症発生状況（対応状況も含む） ・ MRSA等耐性菌の発生状況報告（対応状況も含む） ・ 抗MRSA薬、抗緑膿菌活性を有する抗菌薬等の使用状況報告（適正使用に関する指導状況も含む） ・ 擦式手指消毒用アルコール製剤の使用状況報告 ・ 新型コロナウイルス感染症の流行状況と院内での対応の報告（対応状況も含む） ・ ICTニュース発行時の内容報告 ・ その他院内感染対策の推進に関する方策の検討 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： ・ ①知っていますか薬剤耐性（e-learning研修・DVD貸出） ・ ②もう一度見直そう！COVID-19治療&抗菌薬の適正使用（e-learning研修・DVD貸出） ・ ③インフルエンザ（e-learning研修・DVD貸出） 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ➤ 各所属に「感染対策推進員」を配置し、院内感染対策の推進や院内感染事例が疑われた際、感染対策部との連携を図り迅速な初動につなげている。 ➤ 看護部門は「リンクナース」を配置し、2か月に1回の定期的な会を開催し院内感染対策の推進を図っている。 ➤ 感染症情報やその対応について、院内主要会議でのアナウンスを行い、電子カルテシステムの掲示板の活用等の手段により随時周知徹底を図っている。 ➤ 新型コロナウイルス感染症の流行状況と院内対応に関する検討、そして対策として立案された内容を周知するために週に1回朝に関連部署代表らによる検討の場を設けている。また、その内容を院内へ周知するために週に1回、web会議として院内所属長に向けた連絡会を実施している。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 7 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p><全職員対象></p> <p>○医薬品安全管理セミナー テーマ：最近の医薬品安全対策 対 象：全職員 方 法：mSafe (2022/11/1-11/30) 受講者数：565名 DVD/UB!Point 受講者数：98名</p> <p><新規採用者対象></p> <p>○新規・中途採用者オリエンテーション テーマ：医薬品のオダ上の留意点 対 象：医師・歯科医師 方 法：mSafe (2022/4/1-2023/3/31) 受講者数：205名</p> <p>○新規採用者オリエンテーション テーマ：安全な薬剤管理について 対 象：研修医・歯科研修医・看護師・薬剤師・医療技術 方 法：e-learning 受講者数：172名</p> <p><薬剤師対象></p> <p>○新人薬剤師対象「医薬品の適正使用と適正管理」 開催日：2022/4/11：2名</p> <p>○中途採用薬剤師対象「同上」 開催日：2022/5/12、10/4、12/5：計4名</p> <p><その他></p> <p>○病棟薬剤師による各病棟での学習会等（9回、計96名） ○担当薬剤師による手術室新規配属医師への麻薬・筋弛緩薬の取扱い（10回、計29名）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有)・無)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>1) 業務手順書に基づく年2回の業務チェックと手順書の見直し ・係長以上で年2回、業務手順書の再点検をし、医療に関する安全管理対策会議に諮った上で手順書を改定</p> <p>2) 医薬品安全管理に関する院内ラウンド ・係長以上で年1回、全部署を訪問。手順書に基づく業務の遂行、特に医薬品や鍵、注射シリンジ等の管理状況、救急カート薬や備品の安全な使用、口頭指示の適切な運用、薬剤部から発信している情報の共有状況、輸液ソフトバックを取り扱う際のピンホールの有無のチェック、PTPシートの誤飲対策等を確認</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無)</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>ハブリックス（A型肝炎ワクチン）、タイフィム（腸チフスワクチン）、ベロラボ（狂犬病ワクチン）、プリオリックス（麻疹・風疹・ムンプスワクチン）</p>	

ブーストリックス（破傷風・百日咳・ジフテリアワクチン）を渡航ワクチン外来で使用

・ その他の改善のための方策の主な内容：

1) 未承認薬、適応外処方等の情報収集等

- ①医学倫理審査委員会、臨床倫理委員会でのかかわり
 - ・未承認薬及び適応外処方の審査及び安全な投与に向けた介入
- ②薬剤部内・病棟内でのかかわり
 - ・未承認薬の持込 → 入退院センター業務、病棟薬剤業務、DI業務の中で把握
 - ・病棟での適応外使用 → 病棟薬剤業務の中で把握

2) 院内での医薬関連事故等の把握と対策

- ①医療に関する安全管理対策委員会、医療安全サポート会議での検討（各月1回）
- ②医薬品安全管理委員会での検討（月2回）
 - ・アクシデント事例、ヒヤリハット事例の共有と対策の立案
 - ・未承認薬の処方状況の把握と共有

3) 薬剤部での通常の実行（主なもの）

- ①DIニュースの発行（月1回）
- ②緊急安全性情報・安全性速報、厚労省医薬品・医療機器等安全性情報の他、重要な通知に関する電子カルテへの掲示、院内配布
- ③重要な情報は患者を特定し処方医に文書で通知し、確認印の押されたものを薬剤部で回収
- ④粉碎・一包化の可否情報、麻薬Q&A等薬剤部で加工した文書の電子カルテへの掲示
- ⑤向精神薬の重複処方・過剰処方のモニタリングと注意喚起
- ⑥注射薬ラベルへのルート・フィルター選択上の注意記載
- ⑦トレーシングレポートシステム、フォローアップシートの推進

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 16回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：人工呼吸器の取り扱い、人工呼吸管理、補助循環、ペースメーカー、新規導入機器、血液浄化、汎用型医療機器（輸液ポンプ、シリンジポンプ、吸引器）、放射線機器、他 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容：MEセンターによる年2回の定期点検、特定保守管理機器（生命維持管理装置関連）の臨床工学技士またはメーカー点検 点検計画に沿って実施 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 院内での医療機器に関する医療事故関連情報の把握：医療安全サポート会議（1回/月） 医療に関する安全管理対策委員会への参加（1回/月） 臨床工学部からの医療機器関連安全並びに取扱い方法に関する情報の発信：MEセンター通信の発行（2/年） 重大な安全性情報に関しては医療安全推進部と協議し、連名で院内に案内を発出 患者への対応を必要とした事例に関しては医療安全推進部へオカレンスレポートを提出し、関連部署等と共有 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師)・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全担当の副病院長、医療に関する安全管理対策委員会の委員長として病院全体の安全に関わる事柄を統括し指示・指導を行っている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(3名)・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報室において、院内の医薬品の使用状況を月1回確認している。その結果を踏まえて、添付文書情報(禁忌等)、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時の安全管理に係る情報を整理し、医薬品安全管理責任者に報告する。</p> <p>緊急安全性情報、医薬品・医療機器等安全性情報、医薬品の回収情報など周知徹底の必要な情報は、既に電子媒体や紙媒体など複数の方法によって確実かつ速やかに提供している。</p> <p>特に重要な情報については、処方患者を特定し処方医に注意文書を配布するとともに、処方医に閲覧印を取った後、回収することによって、周知を徹底している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> * 申請書、同意書の確認 * 使用の妥当性に関する情報収集と事前審査 * 使用後のモニタリング <p>・担当者の指名の有無 (有)・無)</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	○有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (○有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：全身麻酔手術を実施する症例を中心に、説明同意書や診療録を確認し、定められた事項の遵守状況の点検を行い、必要時、指導を行っている。院内全体に周知が必要な内容は、臨床部長会、診療科長会議、合同師長会などで周知を行っている。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	○有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>「退院時要約」、「手術記録」、「入院診療計画書」、「継続看護記録」について作成の有無を確認するなど診療記録の量的点検に取り組んでいる。</p> <p>また、「診療記録記載指針」を策定し、記載すべき項目や留意点を示して職員研修を実施するとともに、医師、看護師、コメディカルからなるWGにより診療記録の質的点検及び意見交換を行い、その結果を各所属にフィードバックすることで、診療記録の質的向上にも取り組んでいる。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	○有・無
<p>・所属職員：専従（５）名、専任（１）名、兼任（９）名 うち医師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（２）名 うち薬剤師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（２）名 うち看護師：専従（２）名、専任（０）名、兼任（１）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の１０月１日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故、インシデント、オカレンスに係る報告のとりまとめ ・ 医療事故、インシデントの発生原因の調査、分析 ・ 安全対策の実施状況、医療事故発生時の対応状況に関する調査、確認、指導 ・ 安全管理のための教育、研修の実施 ・ 安全対策の推進 ・ 院内死亡事例の確認と病院長への報告 ・ インフォームド・コンセント実施要綱に従った説明同意書の作成推進と要綱の遵守状況の点検 ・ 集中治療部門、手術部門、内視鏡・超音波部門、放射線部門、医療機器関連で一定の基準以上の事象が発生した事例の把握（オカレンス報告）、全身麻酔手術時の血栓予防策実施率、入院患者の転倒・転落発生率・心肺蘇生実施の把握などのモニタリングの実施 <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（7件）、及び許可件数（9件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：高難度新規医療技術による医療を行う場合に、実施の適否等について審査及び承認を行うほか、当該医療を行う職員の遵守事項等の遵守状況を実施結果報告書により確認している。

高難度新規医療技術導入審査委員会 6回開催

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（14件）、及び許可件数（16件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：未承認薬等を使用する医療を行う場合に、実施の適否等について審査及び承認を行うほか、当該医療を行う職員の遵守事項等の遵守状況を実施結果報告書により確認している。

臨床倫理承認委員会 9回開催

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 229 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 79 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
- ・発生した事例の調査分析、並びに再発防止策の立案及び実施

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有）（病院名：東京大学医学部付属病院）・無
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有）（病院名：琉球大学病院）・無
- ・技術的助言の実施状況

① 医師のインシデントレポート報告数が少ないように見受けられ、今後医師からの報告数を増やすとともに、同一事例についても多数の視点が入るよう複数の職種から報告していただけるようご検討いただきたい。

→（助言に対する実施状況）セーフティマネージャー会議でインシデント報告の必要性や意義、セーフティマネージャーとしての役割についての説明を実施した。複数の職種が関わるインシデントは関連職種のセーフティマネージャーにインシデントレポートを転送して振り返りを依頼することで複数の職種から報告をあげてもらおうよう取り組んでいる。

② M&M カンファレンスを実施し、診療科とさらに安全な医療に努めていただきたい。

→（助言に対する実施状況）以前より診療科や病棟単位で随時 M&M カンファレンスは実施されてきたところであるが、今年度より病院全体として M&M カンファレンスを開催している。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

「患者相談等に関する要綱」に基づき、平成 15 年 4 月 1 日から「患者相談窓口」（医療サービス課所管）を設置し、MSW、専門相談員（事務職員）等が、平日の 8 時 45 分から 17 時まで対応している。

その際に、患者、家族等からの相談、要望、意見等を専門相談員・MSWがお聞きし、必要な場合は医療安全推進担当者等の各専門担当者に引き継ぐなど行い対応、支援することとしている。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況

医療安全研修、感染防止対策研修、医薬品安全管理研修について、全職員を対象にオンライン、DVD 貸出及び院内研修システムにおいて研修を実施し、医療機器安全使用研修については対面にて実施した。

新規採用者及び中途採用者については、入職時に集合又はオンラインにて、医療安全、感染対策、医薬品、医療機器についての安全管理に関する研修を実施した。

○医療安全管理研修：開催回数 4 回

(医療安全の概要について、臨床倫理問題について、診療記録記載指針研修、クレーム対応研修)

○感染防止対策研修：開催回数 3 回

(抗菌薬適正使用について、COVID19 について、インフルエンザについて)

○医薬品安全使用研修：開催回数 1 回

(医薬品安全管理セミナー)

○医療機器安全使用研修：開催回数 16 回

(人工呼吸器の取り扱い、人工呼吸管理、補助循環、ペースメーカー、新規導入機器、血液浄化、汎用型医療機器(輸液ポンプ、シリンジポンプ、吸引器)、放射線機器、他)

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者：

日本医療機能評価機構 2022 年度特定機能病院管理者研修受講 (2023/2/9)

医療安全管理責任者：

日本医療機能評価機構 2022 年度特定機能病院管理者研修受講 (2023/2/3)

医薬品安全管理責任者：

日本医療機能評価機構 2022 年度特定機能病院管理者研修受講 (2023/2/3)

医療機器安全管理責任者：

日本医療機能評価機構 2022 年度特定機能病院管理者研修受講 (2023/1/26)

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

(公財) 日本医療機能評価機構実施の病院機能評価を受審 (受審区分：一般病院3)

※受審年月：令和 4 年 8 月

※認定期間：平成 28 年 3 月 20 日～令和 3 年 3 月 19 日

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う審査特例措置により認定期間を延長

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

評価の結果（認定等）については、病院のHP及び院内に掲示で公表している。

・評価を踏まえ講じた措置

前回評価後、職員の安全衛生管理について指摘を受けた項目については、専門コンサルへの改善依頼、施設設備を新設する等の対応を講じており、引き続き改善活動を実施している。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学内外を問わず、日本国の医師免許を有する者 (2) 附属病院の理念及び基本方針に基づいた病院運営を行う能力を有する者 (3) 医療安全管理業務の経験、患者の安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有する者 (4) 病院での組織管理経験及び高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質及び能力を有する者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 公表の方法 法人のホームページで公表

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 公表の方法 法人のホームページで公表 	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の 関係
藤井 和男	公立大学法人本部	未選任 (前議長で ある前学長 が令和5年3 月末で退任 したため)	選考等に関する規程第2条第3項第1号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
夜久 均	京都府立医科大学		選考等に関する規程第2条第3項第2号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
橋本 直哉	同 脳神経外科学		選考等に関する規程第2条第3項第3号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
佐和 貞治	同 附属病院		選考等に関する規程第2条第3項第4号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
井上 匡美	同 附属病院 医療安全推進部		選考等に関する規程第2条第3項第5号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
藤本 早和子	同 附属病院看護部		選考等に関する規程第2条第3項第6号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
松本 浩成	同 附属病院事務部		選考等に関する規程第2条第3項第6号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
岡村 吉隆	誠佑記念病院		選考等に関する規程第2条第3項第7号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
松田 晋哉	産業医科大学		選考等に関する規程第2条第3項第7号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 京都府立医科大学附属病院の運営方針に関すること。</p> <p>(2) 附属病院の中期計画・年度計画に関すること。</p> <p>(3) 附属病院の予算・決算に関すること。</p> <p>(4) その他附属病院の運営に関する重要な事項に関すること。</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>会議での審議の概要については、臨床部長会等で周知を行う。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
佐和 貞治	○	医師	病院長
高山 浩一		医師	副病院長
井上 匡美		医師	副病院長
福井 道明		医師	副病院長
藤本 早和子		看護師	副病院長、看護部長
中村 猛		医師	医療安全推進部長
四方 敬介		薬剤師	薬剤部長
中田 克哉		放射線技師	医療技術部長
松本 浩成		事務	事務局副局長（事務部長）
山口 健司		事務	病院管理課長
山口 正樹		事務	医療サービス課長
磯 直樹		事務	総務課長
木森 優		事務	経理課長
飯島 弘文		事務	企画広報課長
岡下 武生		事務	情報・研究支援課長
吉田 光宏		事務	経理課参事
奥田 敏博		事務	経営改善担当部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
学内ホームページに掲載（他の大学規程と同様の扱い）
- ・ 規程の主な内容
京都府立医科大学附属病院規程
第5条第3項 病院長は、本院の管理運営を統括するとともに次の事項を専行するものとする。（以下略）

京都府立医科大学附属病院規程
第6条第3項 教授の職にある副病院長は、病院長又は病院長予定者が診療部長の職にある者の中から指名するものとする。
※京都府立医科大学附属病院規程において、病院内の各役職ごとに、病院長が指名する旨を同様に規定

京都府立医科大学附属病院管理運営会議規程
第2条（所掌事項）第3号 附属病院の予算・決算に関すること。
第4条（会議）病院長は、会議を招集し、その議長となる。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
管理者をサポートする体制として、以下の会議を規程により設置
 - ・ 病院管理運営会議（病院の運営方針等を決定する合議体。病院長、副病院長等で構成）
 - ・ 病院経営改善推進会議
（病院の経営改善の方針、運営を審議。学長、副学長、病院長、副病院長等で構成）
 - ・ 病院経営改善企画会議
（病院の運営方針の企画、管理運営を審議。病院長、副病院長等で構成）
 - ・ 臨床部長会（病院の運営、診療を審議。診療部長等で構成）他に、個別の課題に対応するため、医療材料検討委員会など、病院長、担当副病院長が出席する委員会を設置している。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 - ・ 病院長の指名により副病院長、薬剤部長、医療技術部長等の管理職員を配置している。
また、中央部門の長等及び各種委員会の委員についても病院長が指名している。
 - ・ 病院長、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者について、日本医療機能評価機構による「特定機能病院管理者研修」を受講
 - ・ 外部講師による「病院経営改善セミナー」に病院長及び管理職員が参加

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の医療安全推進部、医療に関する安全対策委員会、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者等の業務の状況について、病院長から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を行う。 ・ 必要に応じ、医療に係る安全管理について是正措置を講ずるよう意見を表明する。 ・ 監査の結果について速やかに公表する。 <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 公表の方法：京都府公立大学法人のホームページに掲載</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
松村 由美	京都大学医学部 附属病院	○	特定機能病院の医療 安全管理体制に精通 している。	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
平野 哲郎	立命館大学法科 大学院法務研究 科		法律研究者として関 係の法律に精通して いる。	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
清水 智治	滋賀医科大学医 学部附属病院		医療安全管理に関 する専門的知識を 有している	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
秋篠 憲一			本院の患者として医 療を受ける者の代表	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2
				有・無	
				有・無	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容
京都府公立大学法人会計規則
京都府公立大学法人内部監査要綱
京都府公立大学法人コンプライアンス推進規程
京都府公立大学法人コンプライアンス委員会設置要綱

京都府公立大学法人会計規則及び京都府公立大学法人内部監査要綱により、法人内の業務運営が法令等に基づいて適切に執行されているか、内部監査員による監査を行っているところ。

併せて、公立大学法人総務・経営担当理事を委員長とし、法人所管の2大学の学長、法人の教職員の身分を有していない理事のほか、コンプライアンスに関する有識者で構成するコンプライアンス委員会において、コンプライアンスの推進に係る制度の実施状況の把握、点検、評価等を行うとともに、通報事案の解決策の明示、再発防止策の策定を行っている。

- ・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (・ 無)

・ 公表の方法

内部監査計画及び内部監査結果並びにコンプライアンス推進規程及び内部通報制度に関する要綱を京都府公立大学法人のホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 京都府公立大学法人理事会 病院長は理事として出席 規程に理事会の所掌として明記の上、病院の業務実績等について定期的に報告する等病院業務の監督を実施 ・ 会議体の実施状況（ 年11回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ 年11回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ） ・ 公表の方法 京都府公立大学法人のホームページに掲載 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年5件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法 京都府公立大学法人及び京都府立医科大学附属病院ホームページに掲載 京都府立医科大学コンプライアンス指針に掲載 (教職員研修等で周知)

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>病院ホームページに本院の特定機能病院としての医療提供に係る特色、病院の理念・基本方針各種指定の状況等について掲載し、情報発信を行っている。</p> <p>また、患者向け広報誌を発行 (年 3 回) し、院内での取組等について、定期的に情報発信を行っている。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>外来では、消化器センター、循環器センター、呼吸器センターなど 7 つのセンターで、複数診療科が連携して診療対応に当たっている。</p>	